

第Ⅴ部 インドの労働安全衛生関係法令について

○はじめに

ここ数年、インドの労働雇用省（略称：MoLE）は、すべての労働者の安全、安定、健康及び社会保障を強化し、事業所が雇用の機会/世代を通じたものの創造を促進するための法の遵守を容易にすることを目的として、労働法の施行において透明性及び説明責任をもたらすために、一連のイニシアティブを取ってきている。

これらのイニシアティブには、既存の労働法を簡素化し、合併し、合理化し、4つの労働法典に纏めることによる電子的な手段及び立法改革の適用によるガバナンス改革が含まれている。

この「法制的なイニシアティブ：労働法の改革」として、労働雇用省は、労働に関する第2番目の勧告にしたがって、中央政府の労働法の関連する規定を簡素化し、合併し、及び合理化することによって既存の中央の労働法を次の4つのものに成文化するための段階を踏んできている。

- (1) 賃金に関する労働法
- (2) 産業関係（労使関係）に関する労働法
- (3) 社会保障及び福祉に関する労働法
- (4) 労働安全に関する労働法

これらの4つの労働法の改革の雇用労働省における取組みの状況については、インド労働雇用省の年次報告（2019－20）中の「LABOUR CODES（労働法典）」に関する記述があり、既に本稿（第Ⅲ部 インドの労働安全衛生を所管する行政機関）に収載しているところであるが、そのうちの労働安全に関する労働法の改革としての記事の主要部分を次に再掲する。

（再掲）

<p>CHAPTER-1</p> <p>HIGHLIGHTS OF IMPORTANT ACTIVITIES</p> <p>Introduction:</p> <p>(訳者注：1.1~1.2まで及び1.4以降は省略しました。)</p> <p>LEGISLATIVE INITIATIVES</p> <p>LABOUR LAW REFORMS</p> <p>1.3 Labour Codes: As per the recommendations of the 2nd National Commission on Labour, Ministry has taken steps for codification of existing Central labour laws into 4 Codes by simplifying, amalgamating and</p>	<p>第1章</p> <p>重要な活動のハイライト</p> <p>はじめに</p> <p>立法イニシアティブ</p> <p>労働法の改正</p> <p>1.3 労働法典</p> <p>労働に関する第2回全国委員会の勧告に従って、労働雇用省は、中央政府の既存の労働法の関連規定を単純化し、統合し、及び合理化することによって4つ</p>
--	--

<p>rationalizing the relevant provisions of the Central Labour laws.</p> <p><b>(I) Labour Code on Wages:</b></p> <p>The Code on Wages, 2019 subsumes 4 existing Laws, viz. the Minimum Wages Act, 1948; the Payment of Wages Act, 1936; the Payment of Bonus Act, 1965; and the Equal Remuneration Act, 1976.</p> <p>It has been passed by both Houses of the Parliament and assented to by the Hon'ble President on 08.08.2019.</p> <p>Preliminary draft of Wages (Central) Rules under Section 67 of the Code on Wages, 2019 has been placed on website of the Ministry of Labour and Employment on 01.11.2019 for seeking comments/suggestions of all stakeholders.</p> <p><b>(II) Labour Code on Occupational Safety, Health &amp; Working Conditions:</b></p> <p>The Occupational Safety, Health &amp; Working Conditions Code, 2019 subsumes thirteen Labour Acts, namely, The Factories Act, 1948; The Plantation Labour Act, 1951; The Mines Act, 1952; The Building and Other Constructions Workers' (Regulation of Employment and Conditions of Service) Act, 1996; The Motor Transport Workers Act, 1961; The Beedi and Cigar Workers (Conditions of Employment) Act, 1966; The Contract Labour (Regulation and Abolition) Act, 1970; The Sales Promotion Employees (Conditions of Service) Act, 1976; The Inter-State Migrant Workmen (Regulation of Employment and Conditions of Service) Act, 1979; The Cine Workers and Cinema Theatre Workers (Regulation of Employment) Act, 1981; The Dock Workers (Safety, Health and Welfare) Act, 1986; The Working Journalists and Other Newspapers Employees (Conditions</p>	<p>の法律に成文化するための措置を講じました。</p> <p><b>(I) 賃金に関する労働法典</b></p> <p>賃金法典, 2019 は、既存の 4 つの法律、すなわち最低賃金法、1948; 賃金支払い法, 1936; ボーナス支払法, 1965; 及び均等報酬法, 1976 を包括しています。それは議会の両院で可決され、2019.08.08.2019 に大統領によって承認されました。</p> <p>賃金法典第 67 条に基づく賃金（中央）規則の予備草案は、すべての利害関係者のコメント/提案を求めるために、2019 年 11 月 1 日に労働雇用省のウェブサイトに掲載されています。</p> <p><b>(II) 労働安全衛生及び労働条件に関する労働法典</b></p> <p>労働安全衛生及び労働条件法典 2019 は、13 の労働法を包括しています。</p> <p>すなわち、1948 年工場法、1951 年プランテーション労働法、1952 年鉱山法、1996 年建築その他の建設労働者（雇用及びサービス条件の規制）法、1961 年自動車運送労働者法、1966 年葉煙草及び煙草労働者（雇用条件）法、1970 年契約労働（規制及び廃止）法、1976 年販売促進従業員（サービス条件）法、1979 年州間移民労働者（雇用及びサービス条件の規制）法、1981 年映画館労働者（雇用条件の規制）法、1986 年ドック労働者（安全衛生及び福祉）法、ジャーナリスト及びその他の新聞社労働者（サービス条件の規制）法、映画労働者及び映画館労働者（雇用の規制）法、1981 年、港湾労働者（安全衛生及び福祉）法、1986 年、労働ジャーナリスト及びその他の新聞社被雇用者（勤務条件）及び雑則法、1955 年、労働ジャーナリスト（賃金率の固定化）法、</p>
---	--

<p>of Service) and Miscellaneous Provisions Act, 1955, and The Working Journalists (Fixation of rates of Wages) Act, 1958, The Occupational Safety Health &amp; Working Conditions Code, 2019 has been introduced in the Lok Sabha on 23.07.2019 and has been referred to the Parliamentary Standing Committee on Labour for examination.</p> <p>(資料作成者注：次の法典に関する記述の引用及び日本語仮訳の作成は、省略しました。)</p> <p>(III) Labour Code on Industrial Relations:</p> <p>(IV) Labour Code on Social Security:</p>	<p>1958 年、労働安全衛生及び労働条件法典 2019 は、2019 年 7 月 23 日に Lok Sabha（議会下院）に提出され、審議のために労働に関する常任委員会に付託されています。</p>
--	---

したがって、インド中央政府の労働安全衛生に関する法令としては、インド憲法のほか、上記に掲げた 13 の労働法典（そのうちの一つは、労働安全衛生及び労働条件法典 2019 であって、これは 2019 年 7 月 23 日に Lok Sabha（議会下院）に提出され、審議のために労働に関する常任委員会に付託されています。）があることになります。これらの全てに関して本稿で取り上げることは、その内容が大部のものになること等から困難なので、本稿では、次の項目に絞って、紹介することになります。

- 1 インド憲法が規定している職場における安全、健康及び環境の基本的な政策
- 2 工場法 1948 年（訳者注：その後の改正が盛り込まれている現行の工場法です。）の目次の「英語原文—日本語仮訳」及びその主要条項についての「英語—日本語仮訳」
- 3 ドック労働者（安全衛生及び福祉）法、1986 年（訳者注：その後の改正が盛り込まれている現行のドック労働者（安全衛生及び福祉）である。）の目次全文の「英語原文—日本語仮訳」並びに同法の適用対象である「“dock work”（ドック作業）及び“dock worker”（ドック労働者）の定義」の英語原文—日本語対訳」
- 4 インド労働雇用省が 2019 年 7 月 23 日に Lok Sabha（議会下院）に提出し、審議のために労働に関する常任委員会に付託されている「労働安全衛生及び労働条件法典案 2019」の目次全文の「英語原文—日本語仮訳」並びに使用者による労働者の安全衛生確保に係る主要な条項の「英語原文—日本語仮訳」及び現行工場法（1948 年）の規定内容との相違

なお、インドにおいてその国内経済上重要な部分を占めている鉱業については、“The Mines Act, 1952”（鉱業法、1952 年）がありますが、日本国内では鉱業の占める国内経済の部分はインドとは異なって相対的に低いので、本稿ではその紹介は割愛しています。

また、上記 2 及び 4 に関連して、旧宗主国である英国の「Health and Safety at Work etc. Act 1974」（職場における保健安全法）の著名な条項 (so far as is reasonably

practicable（合理的に実行可能な限りにおいて）に類似するインドの Factory Act 1948 年（工場法 1948 年）の関係規定及び“Draft CODE ON OCCUPATIONAL SAFETY, HEALTH AND WORKING CONDITIONS, 2018”(訳者注：労働安全衛生及び労働条件に関する法典草案)中の関係規定については、それぞれ、赤字で示しています。

V－1 インド憲法が規定している職場における安全、健康及び環境の基本的な政策

（資料作成者注：これについては、既に本稿の「第Ⅲ部 インドの労働安全衛生を所管する行政機関」中の「Ⅲ－2 インド憲法が規定している職場における安全、健康及び環境の基本的な政策」に収載しているところですが、以下に再掲します。）

<p>(訳者注：以下の記述は、2018 年 11 月に、インド労働雇用省のウェブサイト：<a href="https://labour.gov.in/policies/safety-health-and-environment-work-place">https://labour.gov.in/policies/safety-health-and-environment-work-place</a> からダウンロードしたのですが、2020 年 8 月 13 日に、同じウェブサイトで変更がないことを確認しました。)</p> <p><b>Safety, Health and Environment at Work Place</b></p> <hr/> <p>The Constitution of India provide detailed provisions for the rights of the citizens and also lays down the Directive Principles of State Policy which set an aim to which the activities of the state are to be guided. On the basis of these Directive Principles as well as international instruments, Government is committed to regulate all economic activities for management of safety and health risks at workplaces and to provide measures so as to ensure safe and healthy working conditions for every working man and woman in the nation. Government recognizes that safety and health of workers has a positive impact on productivity and economic and social development. Prevention is an integral part of economic activities as high safety and health standard at work is as important as good business performance for new as well as existing industries.</p>	<p><b>職場における安全、衛生及び環境</b></p> <p>インドの憲法は、市民の権利に関する詳細な規定を与えており、さらに州の活動が導かれるべき目的を定める国家政策の原則を定めている。</p> <p>政府は、これらの指令原則及び国際文書に基づいて、職場における安全衛生リスク管理のためのすべての経済活動を規制し、労働者の安全で健康的な労働条件を確保するための措置を講ずることを約束している。</p> <p>政府は労働者の安全及び健康が生産性と経済社会的発展にプラスの影響を与えることを認識している。予防は、職場での高い安全衛生基準が、新規産業及び既存産業に対する良好な業績と同様に重要であるため、経済活動の不可欠な</p>
---	---

	部分である。
<p>(資料作成者注：次の記述は、次のウェブサイトからダウンロードしたものです。 最終閲覧日：2020 年 8 月 13 日)</p> <p><a href="https://labour.gov.in/industrialsafetyandhealth/introduction">https://labour.gov.in/industrialsafetyandhealth/introduction</a></p> <p><b>CONSTITUTIONAL PROVISIONS ON OCCUPATIONAL SAFETY AND HEALTH</b></p> <p>No child below the age of 14 years shall be employed to work in any factory or mine or engaged in any other hazardous employment. The State shall, in particular, direct its policy towards securing: that the health and strength of workers, men and women, and the children of tender age are not abused and that citizens are not forced by economic necessity to enter avocations unsuited to their age or strength; that children are given opportunities and facilities to develop in a healthy manner and in conditions of freedom and dignity and that childhood and youth are protected against exploitation and against moral and material abandonment. The State shall make provision for securing just and humane conditions of work and for maternity relief.</p>	<p>職業上の安全と健康に関する憲法上の規定</p> <p>14 歳未満の児童は、工場若しくは鉱山での労働又はその他の危険な雇用に従事するために雇用されてはならない。国は、特に、労働者、男女及び未熟な年齢の児童の健康及び体力が乱用されず、また、国民が経済的必要性によってその年齢又は体力にそぐわない職業に就くことを余儀なくされないこと、児童が健康的な方法で自由と尊厳のある条件で発達する機会及び施設を与えられ、また、児童及び青少年が搾取及び道徳的及び物質的な放棄から保護されることを確保することに向けて、その政策を指示しなければならない。国は、公正かつ人道的な労働条件を確保するための規定及び出産の救済のための規定を設けなければならない。</p>

## V-2 インドの **Factory Act 1948**（訳者注：その後の改正が盛り込まれている現行の工場法です。）の目次全文の「英語原文—日本語仮訳」

[原典の所在：<https://labour.gov.in/sites/default/files/Factories Act 1948.pdf>] (2020 年 8 月 18 日に変更のないことを確認しました。)

[原典の名称：THE FACTORIES ACT, 1948]

## インドの工場法目次

(資料作成者注：この目次には変更がないことを 2020 年 8 月 18 日に確認しました。)

英語原文	日本語仮訳
<p><b>CHAPTER I</b></p> <p><b>PRELIMINARY</b></p> <p><b>SECTIONS</b></p> <p>1. Short title, extent and commencement.</p> <p>2. Interpretation.</p> <p>3. References to time of day.</p> <p>4. Power to declare different departments to be separate factories or two or more factories to be a single factory.</p> <p>5. Power to exempt during public emergency.</p> <p>6. Approval, licensing and registration of factories.</p> <p>7. Notice by occupier.</p> <p><b>CHAPTER II</b></p> <p><b>THE INSPECTING STAFF</b></p> <p>7A. General duties of the occupier.</p> <p>7B. General duties of manufacturers, etc., as regards articles and substances for use in factories.</p> <p>8. Inspectors.</p> <p>9. Powers of Inspectors.</p> <p>10. Certifying surgeons.</p> <p><b>CHAPTER III</b></p> <p><b>HEALTH</b></p> <p>11. Cleanliness.</p> <p>12. Disposal of wastes and effluents.</p>	<p><b>第 1 章</b></p> <p><b>前文</b></p> <p>セクション</p> <p>1 短いタイトル、適用範囲及びその開始</p> <p>2 解釈</p> <p>3 時刻の基準</p> <p>4 異なる部門を別々の工場にするか、2 つ以上の工場を単一の工場にするかを宣言する権限</p> <p>5 公共の緊急時に免除する権限</p> <p>6 工場の承認、登録</p> <p>7 占有者による通知</p> <p><b>第 2 章</b></p> <p><b>監督の要員</b></p> <p>7A 占有者の一般的な義務</p> <p>7B 工場で使用するための物品及び物質に関する製造者等の一般的な義務</p> <p>8 監督官</p> <p>9 監督官の権限</p> <p>10 医師 (原文では <i>surgeons</i> ですが、以下「医師」と訳しています。)</p> <p>の認定</p> <p><b>第 3 章</b></p> <p><b>衛生</b></p> <p>11 清潔</p>

13. Ventilation and temperature.	12 廃棄物及び排水の処理
14. Dust and fume.	13 換気及び温度
15. Artificial humidification.	14 ほこり及び煙
16. Overcrowding.	15 人工加湿
17. Lighting.	16 過密状態
18. Drinking water.	17 照明
19. Latrines and urinals.	18 飲料水
20. Spittoons.	19 便所及び便器
<b>CHAPTER IV</b>	20 たんつぼ
<b>SAFETY</b>	<b>第4章</b>
21. Fencing of machinery.	<b>安全</b>
22. Work on or near machinery in motion. 2	21 機械の覆い
<b>SECTIONS</b>	22 動いている機械の上又は近くでの作業
23. Employment of young persons on dangerous machines.	23 危険な機械での若者の雇用。
24. Striking gear and devices for cutting off power.	24 電力を遮断するための打撃歯車及び装置。
25. Self-acting machines.	25 自己作動機械
26. Casing of new machinery.	26 新しい機械の包装
27. Prohibition of employment of women and children near cotton-openers.	27 開綿機の近くでの女性及び児童の雇用の禁止
28. Hoists and lifts.	28 ホイスト及びリフト
29. Lifting machines, chains, ropes and lifting tackles.	29 荷上げ機械、チェーン、ロープ、持ち上げ滑車
30. Revolving machinery.	30 回転機械
31. Pressure plant.	31 圧力プラント
32. Floors, stairs and means of access.	32 床、階段及びアクセスの手段
33. Pits, sumps openings in floors, etc.	33 床のピット、汚水溜めの開口部等
34. Excessive weights.	34 過度の荷重
35. Protection of eyes.	



<p>36. Precautions against dangerous fumes, gases, etc.</p> <p>36A. Precautions regarding the use of portable electric light.</p> <p>37. Explosive or inflammable dust, gas, etc.</p> <p>38. Precautions in case of fire.</p> <p>39. Power to require specifications of defective parts or tests of stability.</p> <p>40. Safety of buildings and machinery.</p> <p>40A. Maintenance of buildings.</p> <p>40B. Safety officers.</p> <p>41. Power to make rules to supplement this Chapter.</p> <p><b>CHAPTER IVA</b></p> <p><b>PROVISIONS RELATING TO HAZARDOUS PROCESSES</b></p> <p>41A. Constitution of Site Appraisal Committee.</p> <p>41B. Compulsory disclosure of information by the occupier.</p> <p>41C. Specific responsibility of the occupier in relation to hazardous processes.</p> <p>41D. Power of Central Government to appoint Inquiry Committee.</p> <p>41E. Emergency standards.</p> <p>41F. Permissible limits of exposure of chemical and toxic substances.</p> <p>41G. Workers' participation in safety management.</p> <p>41H. Right of workers to warn about imminent danger.</p> <p><b>CHAPTER V</b></p> <p><b>WELFARE</b></p> <p>42. Washing facilities.</p> <p>43. Facilities for storing and drying clothing.</p> <p>44. Facilities for sitting.</p> <p>45. First-aid appliances.</p> <p>46. Canteens.</p>	<p>35 眼の保護</p> <p>36 危険な煙霧、ガス等に対する予防措置</p> <p>36A 携帯電灯の使用に関する注意事項</p> <p>37 爆発性又は可燃性の粉じん、ガス等</p> <p>38 火災時の注意</p> <p>39 不良部品の仕様及び安定性のテストを求める権限</p> <p>40 建物及び機械の安全性</p> <p>40A 建物のメンテナンス</p> <p>40B 安全管理者</p> <p>41 この章を補うための規則を作る権限</p> <p><b>第 IVA 章</b></p> <p><b>有害なプロセスに関する規定</b></p> <p>41A 現場審査委員会の構成</p> <p>41B 占有者による情報の強制開示</p> <p>41C 危険なプロセスに関する占有者の特定の責任</p> <p>41D 調査委員会を任命する中央政府の権限</p> <p>41E 緊急基準</p> <p>41F 化学物質及び有害物質のばく露の許容限度</p> <p>41G 労働者の安全管理への参加</p> <p>41H 差し迫った危険を警告する労働者の権利</p> <p><b>第 5 章</b></p> <p><b>福祉</b></p> <p>42 洗濯施設</p> <p>43 衣類の保管及び乾燥のための設備</p> <p>44 座るための設備</p> <p>45 応急処置用具</p>
---	--



<p>47. Shelters, rest rooms and lunch rooms.</p> <p>48. Creches.</p> <p>49. Welfare officers.</p> <p>50. Power to make rules to supplement this Chapter.</p> <p><b>CHAPTER VI</b></p> <p><b>WORKING HOURS OF ADULTS</b></p> <p>51. Weekly hours.</p> <p>52. Weekly holidays.</p> <p>53. Compensatory holidays.</p> <p>54. Daily hours.</p> <p>55. Intervals for rest.</p> <p>56. Spread over.</p> <p>57. Night shifts.</p> <p>58. Prohibition of overlapping shifts.</p> <p>59. Extra wages for overtime.</p> <p>60. Restriction on double employment.</p> <p>61. Notice of periods of work for adults.</p> <p>62. Register of adult workers.</p> <p>63. Hours of work to correspond with notice under section 61 and register under section 62.</p> <p>64. Power to make exempting rules.</p> <p>65. Power to make exempting orders.</p> <p>66. Further restrictions on employment of women.</p> <p><b>CHAPTER VII</b></p> <p><b>EMPLOYMENT OF YOUNG PERSONS</b></p> <p>67. Prohibition of employment of young children.</p>	<p>46 水筒</p> <p>47 避難所、休憩室及び昼食部屋</p> <p>48 託児所</p> <p>49 福祉管理者</p> <p>50 この章を補うための規則を作る権限</p> <p><b>第 6 章</b></p> <p><b>成人の労働時間</b></p> <p>51 毎週の時間</p> <p>52 毎週の休日</p> <p>53 代替休日</p> <p>54 毎日の時間</p> <p>55 休憩のための間隔</p> <p>56 労働時間調整制度</p> <p>57 夜間勤務</p> <p>58 重複シフトの禁止</p> <p>59 残業のための追加賃金</p> <p>60 二重雇用の制限</p> <p>61 成人のための仕事の期間の通知</p> <p>62 成人労働者の登録</p> <p>63 セクション 61 の通知及びセクション 62 の下での登録に対応する作業時間</p> <p>64 免除規則を作る権限</p> <p>65 免除命令を出す権限</p> <p>66 女性の雇用に関するさらなる制限</p> <p><b>第 VII 章</b></p> <p><b>若者の雇用</b></p>
---	--

68. Non-adult workers to carry tokens.	67 幼児の雇用の禁止
69. Certificates of fitness.	68 証拠を携帯する非成人の労働者
70. Effect of certificate of fitness granted to adolescent.	69 適性証明書
71. Working hours for children.	70 青年期に与えられた健康状態証明書の効果
72. Notice of periods of work for children.	71 児童の労働時間
73. Register of child workers.	72 児童のための働く期間の通知
74. Hours of work to correspond with notice under section 72 and register under section 73.	73 児童労働者の登録
75. Power to require medical examination.	74 セクション 72 に基づく通知及びセクション 73 に基づく登録に対応する労働時間
76. Power to make rules.	75 健康診断を要求する権限
77. Certain other provisions of law not barred. 4	76 規程を作る権限
<b>CHAPTER VIII</b>	77 禁止されていない法律の特定の他の規定
<b>ANNUAL LEAVE WITH WAGES</b>	<b>第 VIII 章</b>
<b>SECTIONS</b>	<b>年間の有給休暇</b>
78. Application of Chapter.	セクション
79. Annual leave with wages.	78 この章の適用
80. Wages during leave period.	79 年間の有給休暇
81. Payment in advance in certain cases.	80 休暇期間中の賃金
82. Mode of recovery of unpaid wages.	81 ある場合の事前に支払い
83. Power to make rules.	82 未払い賃金の回復の仕方
84. Power to exempt factories.	83 規程を作る権限
<b>CHAPTER IX</b>	84 工場を免除する権限
<b>SPECIAL PROVISIONS</b>	<b>第 IX 章</b>
85. Power to apply the Act to certain premises.	<b>特別規定</b>
86. Power to exempt public institutions.	85 特定の施設に法を適用する権限
87. Dangerous operations.	86 公共機関を免除する権限

<p>87A. Power to prohibit employment on account of serious hazard.</p> <p>88. Notice of certain accidents.</p> <p>88A. Notice of certain dangerous occurrences.</p> <p>89. Notice of certain diseases.</p> <p>90. Power to direct enquiry into cases of accident or disease.</p> <p>91. Power to take samples.</p> <p>91A. Safety and occupational health surveys.</p> <p><b>CHAPTER X</b></p> <p><b>PENALTIES AND PROCEDURE</b></p> <p>92. General penalty for offences.</p> <p>93. Liability of owner of premises in certain circumstances.</p> <p>94. Enhanced penalty after previous conviction.</p> <p>95. Penalty for obstructing Inspector.</p> <p>96. Penalty for wrongfully disclosing results of analysis under section 91.</p> <p>96A. Penalty for contravention of the provisions of sections 41B, 41C and 41H.</p> <p>97. Offences by workers.</p> <p>98. Penalty for using false certificate of fitness.</p> <p>99. Penalty for permitting double employment of child.</p> <p>100. <i>[Repealed.]</i></p> <p>101. Exemption of occupier or manager from liability in certain cases.</p> <p>102. Power of Court to make orders.</p> <p>103. Presumption as to employment.</p> <p>104. Onus as to age.</p> <p>104A. Onus of proving limits of what is practicable, etc.</p> <p>105. Cognizance of offences.</p>	<p>87 危険な操作</p> <p>87A 重大な危険を理由に雇用を禁止する権限</p> <p>88 特定の事故の通知</p> <p>88A 特定の危険の発生の通知</p> <p>89 特定の疾病の通知</p> <p>90 事故や疾病の場合に直接照会する権限</p> <p>91 サンプルを収集する権限</p> <p>91A 安全衛生調査</p> <p><b>第 X 章</b></p> <p><b>罰則及び手続き</b></p> <p>92 違反に対する一般的な罰則</p> <p>93 特定の状況における施設所有者の責任</p> <p>94 前回の判決後の罰則の強化</p> <p>95 監督官を妨害することへの罰則</p> <p>96 セクション 91 に基づいて分析結果を不正に開示した場合の罰則</p> <p>96A セクション 41B、41C 及び 41H の条項に違反した場合の罰則</p> <p>97 労働者による違反</p> <p>98 虚偽の適正証明書を使用することに対する罰則</p> <p>99 児童の二重雇用を認めた場合の罰則</p> <p>100 [廃止]</p> <p>101 特定の場合において、占有者又は管理者の責任免除</p> <p>102 命令を出す裁判所の権限</p> <p>103 雇用に関する推定</p> <p>104 年齢による責任</p> <p>104A 実行可能な限度の証明等</p>
---	---

<p>106. Limitation of prosecutions.</p> <p>106A. Jurisdiction of a court for entertaining proceedings, etc., for offence.</p> <p><b>CHAPTER XI</b></p> <p><b>SUPPLEMENTAL</b></p> <p>107. Appeals.</p> <p>108. Display of notices.</p> <p>109. Service of notices.</p> <p>110. Returns.</p> <p>111. Obligations of workers.</p> <p>111A. Right of workers, etc.</p> <p>112. General power to make rules.</p> <p>113. Powers of Centre to give directions.</p> <p>114. No charge for facilities and conveniences.</p> <p>115. Publication of rules.</p> <p>116. Application of Act to Government factories.</p> <p>117. Protection to persons acting under this Act.</p> <p>118. Restrictions on disclosure of information.</p> <p>118A. Restriction on disclosure of information.</p> <p>119. Act to have effect notwithstanding anything contained in Act 37 of 1970.</p> <p>120. Repeal and savings.</p> <p><b>THE FIRST SCHEDULE.</b> <i>(LIST OF INDUSTRIES INVOLVING HAZARDOUS PROCESSES)</i></p> <p><b>THE SECOND SCHEDULE.</b> <i>(PERMISSIBLE LEVELS OF CERTAIN CHEMICAL SUBSTANCES IN WORK ENVIRONMENT)</i></p>	<p>105 違反の認識</p> <p>106 訴追の制限</p> <p>106A 違反に対する訴訟手続等の裁判所の管轄権</p> <p><b>第 XI 章</b></p> <p><b>補足</b></p> <p>107 控訴</p> <p>108 通知の表示</p> <p>109 通知のサービス</p> <p>110 返還</p> <p>111 労働者の義務</p> <p>111A 労働者の権利等</p> <p>112 規則を作る一般的な権限</p> <p>113 指示を与えるセンターの権限</p> <p>114. 施設や便益の無料</p> <p>115 規則の公表</p> <p>116 政府工場への法律の適用</p> <p>117 この法律に基づいて行動する者への保護</p> <p>118 情報開示に関する制限</p> <p>118A 情報開示に関する制限</p> <p>119 1970 年法律第 37 号に含まれるいかなる規定にもかかわらず、効力を有する法律</p> <p>120 廃止及び準用</p> <p><b>別表第 1</b>(危険有害なプロセスを含む業種)</p> <p><b>別表第 2</b> (作業環境における一定の化学物質の許容限界)</p>
--	---

THE THIRD SCHEDULE. ( <i>LIST OF NOTIFIABLE DISEASES</i> )	別表第 3 (届け出義務のある疾病のリスト)
--	------------------------

### V-3 インドの Factory Act 1948( (訳者注：その後の改正が盛り込まれている現行の工場法である。) の主要条項の「英語原文—日本語仮訳」

(訳者説明：ここでは、THE FACTORIES ACT, 1948 中の重要と思われる条項のみを抜粋して、「英語原文—日本語対訳」として紹介するものです。)

(訳者注：1. 以下において、「イタリック体」で記載した部分は、訳者が文意補足するために挿入したものです。)

(訳者注：2. 「セクション」は、第〇条) として訳することもできますが、ここでは原文のままの「セクション」としてあります。)

英語原文	日本語仮訳
CHAPTER I PRELIMINARY <b>2. Interpretation.</b> —In this Act, unless there is anything repugnant in the subject or context,—	第 1 章 前文 2. 解釈—この法律では、主題又は文脈に矛盾しない限り、(次の文言の意味は次のとおりである。) —
(1) the owner of the dock shall be deemed to be the occupier for the purposes of any matter provided for by or under— (a) section 6, section 7, 4[section 7A, section 7B,] section 11 or section 12; (b) section 17, in so far as it relates to the providing and maintenance of sufficient and suitable lighting in or around the dock; (c) section 18, section 19, section 42, section 46, section 47 or section 49, in relation to the workers employed on such repair or maintenance;	(1) 港 (埠頭) の所有者は、次の規定により、又は次の下で、占有者とみなされるものとする。 (a) セクション 6、セクション 7, 4 [セクション 7A、セクション 7B、セクション 11 又はセクション 12] (b) セクショ 17 では、港 (埠頭) 内又はその周辺で十分かつ適切な照明を提供し維持することに関する限り、 (c) セクション 18、セクション 19、セクション 42、セクション 46、セクション 47 又はセクション 49、そのような修理又はメンテナンスに従事する労働者に関連して、
(2) the owner of the ship or his agent or master or other officer-in-charge of the ship or any person who contracts with such owner, agent or master or other officer-in-charge to carry out the repair or maintenance work shall be deemed to be the occupier for the purposes of any matter provided for by or under section 13,	(2) 船舶の所有者又はその代理人、幹部若しくは管理者 (士官)、その他船舶の管理に責任のある管理者 (士官) 若しくはそのような所有者と契約した幹部若しくは修理又はメンテナンスの作業を実施することに責任がある他の管理者 (士官) は、セクション 13、セクション 14、セクション 16 若しくはセクション第

<p>section 14, section 16 or section 17 (save as otherwise provided in this proviso) or Chapter IV (except section 27) or section 43, section 44 or section 45, Chapter VI, Chapter VII, Chapter VIII or Chapter IX or section 108, section 109 or section 110, in relation to—</p> <p>(a) the workers employed directly by him, or by or through any agency; and</p> <p>(b) the machinery, plant or premises in use for the purpose of carrying out such repair or maintenance work by such owner, agent, master or other officer-in-charge or person;</p>	<p>17（この条件で別段の定めがない限り、）又は第４章（セクション 27 を除く。）、セクション 43、セクション 44、セクション 45、第 6 章、第 7 章、第 8 章若しくは第 9 章、セクション 108、セクション 109 若しくはセクション 110 により、又はその下で規定されているいかなることがらの目的について、次に関連して占有者とみなされなければならない。</p> <p>（a）直接又はいずれかの代理店によって雇用された労働者。そして</p> <p>（b）その所有者、代理人、幹部又はその他の責任のある管理者（士官）若しくは者によって、修理又はメンテナンスを実施する目的で使用する機械、プラント又は建物</p>
<p>(d) “worker” means a person <sup>4</sup>[employed, directly or by or through any agency (including a contractor) with or without the knowledge of the principal employer, whether for remuneration or not], in any manufacturing process, or in cleaning any part of the machinery or premises used for a manufacturing process, or in any other kind of work incidental to, or connected with, the manufacturing process, or the subject of the manufacturing process <sup>3</sup>[but does not include any member of the armed forces of the Union];</p>	<p>(d) 「労働者」とは、[主な雇用者についての知識を有するか否かにかかわらず、かつ、報酬の有無にかかわらず]、直接又はいかなる代理者（請負者を含む。）により、若しくはその代理者を通じて、製造プロセスにおいて、若しくは 製造プロセスに使用される機械若しくは施設の一部、又は製造プロセスに付随する、若しくは製造プロセスに関連するその他の種類の作業において雇用された者を意味する。[連邦の軍隊の構成員は含まない];</p>
<p>(m) “factory” means any premises including the precincts thereof—</p> <p>(i) whereon ten or more workers are working, or were working on any day of the preceding twelve months, and in any part of which a manufacturing process is being carried on with the aid of power, or is ordinarily so carried on, or</p> <p>(ii) whereon twenty or more workers are working, or were working on any day of the preceding twelve months, and in any part of which a manufacturing process is being carried on without the aid of power, or is ordinarily so carried on,—</p> <p>but does not include a mine subject to the operation of <sup>5</sup>[the Mines Act,</p>	<p>(m) 「工場」とは、その区域を含む建物を意味し、そのために、</p> <p>(i) 10 人以上の労働者が働いているか、若しくはその前の 12 ヶ月間のいずれかの日に 10 人以上の労働者が働いているか、そして製造工程のいずれかの部分で電力の助けにより実施されているか、若しくは通常はそうに操業されているか、又は、</p> <p>(ii) 20 人以上の労働者が働いているか、若しくはその前 12 ヶ月のうちのいずれかの日に 20 人以上の労働者が働いていたものであって、製造プロセスが電力の補助なしに実施されているもの、又は通常はそうに操業されているもの —</p> <p>しかしながら、鉱山法、1952（1952 年法律第 35 号）に従って操業の対象とな</p>

<p>1952 (35 of 1952)], or [a mobile mobile unit belonging to the armed forces of the Union, railway running shed or a hotel, restaurant or eating place].</p> <p>[Explanation[I]—For computing the number of workers for the purposes of this clause all the workers in 3[different groups and relays] in a day shall be taken into account:]</p> <p>[Explanation II.—For the purposes of this clause, the mere fact that an Electronic Data Processing Unit or a Computer Unit is installed in any premises or part thereof, shall not be construed to make it a factory if no manufacturing process is being carried on in such premises or part thereof:]</p>	<p>る鉱山又は連邦の軍隊に属する移動体、鉄道の格納庫、ホテル、レストラン、食堂等は含まない。</p> <p>[解説[1] - この節の目的のために労働者の数を計算するには、1 日における[異なるグループ及び交代要員]のすべての労働者が考慮されなければならない。</p> <p>[解説 II - この条項の目的のためには、電子データ処理装置又はコンピュータ装置がいずれかの施設又はその一部に設置されているという単なる事実は、そのような敷地内又はその一部において、製造プロセスが実行されていない場合には、工場であると解釈してはならない。]</p>
<p>(n) “occupier” of a factory means the person who has ultimate control over the affairs of the factory <sup>5***</sup>.</p> <p>4[Provided that—</p> <p>(i) in the case of a firm or other association of individuals, any one of the individual partners or members thereof shall be deemed to be the occupier;</p> <p>(ii) in the case of a company, any one of the directors shall be deemed to be the occupier;</p> <p>(iii) in the case of a factory owned or controlled by the Central Government or any State Government, or any local authority, the person or persons appointed to manage the affairs of the factory by the Central Government, the State Government or the local authority, as the case may be, shall be deemed to be the occupier:]</p> <p>1[6[Provided further that] in the case of a ship which is being repaired, or on which maintenance work is being carried out, in a dry dock which is available for hire,—</p> <p>(I) the owner of the dock shall be deemed to be the occupier for the purposes of any matter provided for by or under—</p>	<p>(n) 工場の「占有者」とは、工場の業務を究極的に支配する者をいう。</p> <p>[もしも次のような場合には、</p> <p>(i) 企業又は他の個人の団体の場合には、個々のパートナー又はそのメンバーのいずれかが占有者とみなされる。</p> <p>(ii) 会社の場合、いずれかの取締役が占有者とみなされるものとする。</p> <p>(iii) 中央政府、州政府又は地方自治体が所有し、又は管理する工場の場合は、中央政府、州政府又は地方自治体によって工場の事務を管理するよう任命された者が、場合によっては、占有者とみなされる:]</p> <p>[さらに次のような場合には、]賃貸しが可能な乾ドックで、修理されている、又はメンテナンス作業が行われている船舶の場合で、</p> <p>(I) ドックの所有者は、次の条項により、又はその下で規定されている事項の目的についての占有者とみなされる。</p>



<p>(a) section 6, section 7, 4[section 7A, section 7B,] section 11 or section 12;</p> <p>(b) section 17, in so far as it relates to the providing and maintenance of sufficient and suitable lighting in or around the dock;</p> <p>(c) section 18, section 19, section 42, section 46, section 47 or section 49, in relation to the workers employed on such repair or maintenance;</p> <p>(2) the owner of the ship or his agent or master or other officer-in-charge of the ship or any person who contracts with such owner, agent or master or other officer-in-charge to carry out the repair or maintenance work shall be deemed to be the occupier for the purposes of any matter provided for by or under section 13, section 14, section 16 or section 17 (save as otherwise provided in this proviso) or Chapter IV (except section 27) or section 43, section 44 or section 45, Chapter VI, Chapter VII, Chapter VIII or Chapter IX or section 108, section 109 or section 110, in relation to—</p> <p>(a) the workers employed directly by him, or by or through any agency; and</p> <p>(b) the machinery, plant or premises in use for the purpose of carrying out such repair or maintenance work by such owner, agent, master or other officer-in-charge or person;</p>	<p>(a) セクション 6、セクション 7, [セクション 7A、セクション 7B]、セクション 11 又はセクション 12]</p> <p>(b) 第 17 条では、ドック内又はその周辺で十分かつ適切な照明を提供し維持することに関する限り、</p> <p>(c) そのような修理又はメンテナンスに従事する労働者に関連して、セクション 18、セクション 19、セクション 42、セクション 46、セクション 47 又はセクション 49</p> <p>(2) 船舶の所有者、その代理人、幹部若しくは管理者（士官）、その他船舶の管理に責任のある管理者（士官）若しくはそのような所有者と契約した幹部若しくは修理又はメンテナンスの作業を実施することに責任がある他の管理者（士官）は、セクション 13、14、16、17（この条件で別段の定めがない限り、）若しくは第 4 章（セクション 27 を除く。）、セクション 4、セクション 44、セクション 45、第 6 章、第 7 章、第 8 章、第 9 章、セクション 108、セクション 109 若しくは 110 により、又はその下で規定されているいかなることがらの目的について、次に関連して占有者とみなされなければならない。</p> <p>(a) 直接又はいずれかの代理店によって雇用された労働者。そして</p> <p>(b) その所有者、代理人、幹部又はその他の責任のある管理者（士官）若しくは者によって、修理又はメンテナンスを実施する目的で使用する機械、プラント又は建物</p>
<p>CHAPTER II</p> <p>THE INSPECTING STAFF</p>	<p>第 2 章</p> <p>監督要員</p>
<p><sup>1</sup>[7A. <b>General duties of the occupier.</b>—(1) Every occupier shall ensure, so far as is practicable, the health, safety and welfare of all workers while they are at work in the factory.</p> <p>(2) Without prejudice to the generality of the provisions of sub-section (1), the matters to which such duty extends, shall include—</p>	<p>[7A. 占有者の一般的任務 - (1) すべての占有者は、工場内で働いているすべての労働者の健康、安全および福祉を、<b>合理的に実行可能な限り</b>、確保しなければならない。</p> <p>(2) (1) の規定の一般性を害することなく、その義務が及ぶ事項は、</p>

<p>(a) the provision and maintenance of plant and systems of work in the factory that are safe and without risks to health;</p> <p>(b) the arrangements in the factory for ensuring safety and absence of risks to health in connection with the use, handling, storage and transport of articles and substances;</p> <p>(c) the provisions of such information, instruction, training and supervision as are necessary to ensure the health and safety of all workers at work;</p> <p>(d) the maintenance of all places of work in the factory in a condition that is safe and without risks to health and the provision and maintenance of such means of access to, and egress from, such places as are safe and without such risks;</p> <p>(e) the provision, maintenance or monitoring of such working environment in the factory for the workers that is safe, without risks to health and adequate as regards facilities and arrangements for their welfare at work.</p> <p>(3) Except in such cases as may be prescribed, every occupier shall prepare, and, as often as may be appropriate, revise, a written statement of his general policy with respect to the health and safety of the workers at work and the organisation and arrangements for the time being in force for carrying out that policy, and to bring the statement and any revision thereof to the notice of all the workers in such manner as may be prescribed.</p>	<p>(a) 安全で健康への危険がない工場内の作業及び作業システムの提供及び維持</p> <p>(b) 物品及び物質の使用、取扱い、保管及び輸送に関連して安全を確保し、健康へのリスクがないことを保証するための工場内の手配</p> <p>(c) 作業中のすべての労働者の健康と安全を確保するために必要な情報、指導、訓練及び管理を与えること。</p> <p>(d) 安全であり、健康への危険性がなく、かつ、安全で、そのようなリスクのない場所にアクセスし、そこから退出する手段を与え、及び維持する条件で、工場内のすべての作業場を維持すること。</p> <p>(e) 安全であり、健康へのリスクがなく、職場での福祉のための施設及び手配に関して適切である労働者のための工場における作業環境の提供、維持又は監視</p> <p>(3) 規定されている場合を除き、すべての占有者は、作業中の労働者及び組織の安全衛生に関する一般方針書を作成し、必要に応じて修正することができる。その政策を実施するために有効な施策を講じ、及びその政策及びその修正を、規定された方法ですべての労働者に告知するものとする。</p>
<p><b>*7B. General duties of manufacturers, etc., as regards articles and substances for use in factories.</b>—(1) Every person who designs, manufactures, imports or supplies any article for use in any factory, shall—</p> <p>(a) ensure, <b>so far as is reasonably practicable</b>, that the article is so designed and constructed as to be safe and without risks to the health of the workers when properly used;</p>	<p>7B 工場で使用するための物品及び物質に関する製造者等の一般的な義務 -</p> <p>(1) 工場で使用するための物品の設計、製造、輸入又は供給を行う者は、次のことを行わなければならない。</p> <p>(a) <b>合理的に実行可能な限り</b>、適切に使用された場合には、労働者の健康に危険を及ぼすことなく安全であるように設計され、構築されていることを保証する。</p>

<p>(b) carry out or arrange for the carrying out of such tests and examination as may be considered necessary for the effective implementation of the provisions of clause (a);</p> <p>(c) take such steps as may be necessary to ensure that adequate information will be available—</p> <p>(i) in connection with the use of the article in any factory;</p> <p>(ii) about the use for which it is designed and tested; and</p> <p>(iii) about any conditions necessary to ensure that the article, when put to such use, will be safe, and without risks to the health of the workers:</p> <p>Provided that where an article is designed or manufactured outside India, it shall be obligatory on the part of the importer to see—</p> <p>(a) that the article conforms to the same standards if such article is manufactured in India, or</p> <p>(b) if the standards adopted in the country outside for the manufacture of such article is above the standards adopted in India, that the article conforms to such standards.</p> <p>(2) Every person, who undertakes to design or manufacture any article for use in any factory, may carry out or arrange for the carrying out of necessary research with a view to the discovery and, so far as is reasonably practicable, the elimination or minimisation of any risks to the health or safety of the workers to which the design or article may give rise.</p> <p>(3) Nothing contained in sub-sections (1) and (2) shall be construed to require a person to repeat the testing, examination or research which has been carried out otherwise than by him or at his instance in so far as it is reasonable for him to rely on the results thereof for the purposes of the said sub-sections.</p>	<p>(b) (a) の規定の効果的な実施のために必要と考えられる試験及び検査を実施し、又は手配すること。</p> <p>(c) 十分な情報が利用可能となることを保証するために、次のような必要な措置を講ずる -</p> <p>(i) いかなる工場における物品の使用に関連して;</p> <p>(ii) それが設計され、試験されているための使用について; そして</p> <p>(iii) そのような使用に供されたときに当該物品が安全であり、労働者の健康に危険を及ぼすことのないようにするために必要な条件について: インド以外で物品を設計又は製造する場合には、輸入者側は、次の義務がある -</p> <p>(a) その品物がインドで製造されているとした場合に、同じ基準に適合しているか、</p> <p>(b) そのような品物の製造のために国外で採択された基準がインドで採択された基準を上回っている場合に、当該品目はその基準に適合すること。</p> <p>(2) 工場で使用するために物品を設計又は製造しようとする者は、設計又は物品がもたらす可能性のある労働者の健康又は安全に対するリスクを発見し、そして合理的に実行可能な限り、除去するか、又は最小限に抑えることを目指して、必要な研究を実施するか、又は手配することができる。</p> <p>(3) (1) 及び (2) に含まれているものは、前記の項の目的のために彼がその結果に頼ることが合理的である限り、ある者がそれ以外の方法で実施された試験、試験又は研究を繰り返すことを要求していると解釈されてはならない。</p>
---	--

<p>(4) Any duty imposed on any person by sub-sections (1) and (2) shall extend only to things done in the course of business carried on by him and to matters within his control.</p> <p>(5) Where a person designs, manufactures, imports or supplies an article on the basis of a written undertaking by the user of such article to take the steps specified in such undertaking to ensure, so far as is reasonably practicable, that the article will be safe and without risks to the health of the workers when properly used, the undertaking shall have the effect of relieving the person designing, manufacturing, importing or supplying the article from the duty imposed by clause (a) of sub-section (1) to such extent as is reasonable having regard to the terms of the undertaking.</p> <p>(6) For the purposes of this section, an article is not to be regarded as properly used if it is used without regard to any information or advice relating to its use which has been made available by the person who has designed, manufactured, imported or supplied the article.</p> <p><i>Explanation.</i>—For the purposes of this section, “article” shall include plant and machinery.]</p>	<p>(4) (1) 項及び (2) 項によってある者に課される義務は、その者が運営する事業の過程で行われたもの及びその管理下の事項にのみ及ぶものとする。</p> <p>(5) その物品が適切に使用された場合に、合理的に実行可能である限り、安全であり、労働者の健康にリスクがないであろうことを、その引き受けにおいて特定された措置が講じられたことについてのその物品の利用者による書面による保障に基づいて、その物品を設計、製造、輸入又は供給する場合には、その引き受けの条項に関して合理的である限り、その引き受けは、(1) の (a) 項によって課せられた義務から品物を設計、製造、輸入又は供給する者を救済する効果を有するものとする。</p> <p>(6) 本条の目的のためには、もし、その物品を設計し、製造し、輸入し、又は供給した者から利用可能とされた情報又は助言に関係なく使用される場合には、その製品は適切に使用されているとみなすべきではない。</p> <p>解説 - このセクションの目的のために、その物品にはプラント及び機械が含まれるものとする。]</p>
<p><b>8. Inspectors.</b>—(1) The State Government may, by notification in the Official Gazette, appoint such persons as possess the prescribed qualification to be Inspectors for the purposes of this Act and may assign to them such local limits as it may think fit.</p> <p>(2) The State Government may, by notification in the Official Gazette, appoint any person to be a Chief Inspector who shall, in addition to the powers conferred on a Chief Inspector under this Act, exercise the powers of an Inspector throughout the State.</p> <p>1[(2A) The State Government may, by notification in the Official Gazette, appoint</p>	<p>8. 監督官 - (1) 州政府は、官報に告示して、この法律の目的に照らして、監督官になる規定された資格を有する者を任命することができ、適切と思われる地域の限度を割り当てることができる。</p> <p>(2) 州政府は、官報に告示して、この法律の下で主任監督官に与えられる権限に加えて、州全域で監督官の権限を行使できる主任監督官を任命するものとする。</p> <p>[ (2A) 州政府は、主任監督官を補佐し、及びそのような告示で特定されるよう</p>

<p>as many Additional Chief Inspectors, Joint Chief Inspectors and Deputy Chief Inspectors and as many other officers as it thinks fit to assist the Chief Inspector and to exercise such of the powers of the Chief Inspector as may be specified in such notification.</p> <p>(2B) Every Additional Chief Inspector, Joint Chief Inspector, Deputy Chief Inspector and every other officer appointed under sub-section (2A) shall, in addition to the powers of a Chief Inspector specified in the notification by which he is appointed, exercise the power of an Inspector throughout the State.]</p> <p>(3) No person shall be appointed under sub-section (1), sub-section (2) 1[, sub-section (2A)] or sub-section (5) or, having been so appointed, shall continue to hold office, who is or becomes directly or indirectly interested in a factory or in any process or business carried on therein or in any patent or machinery connected therewith.</p> <p>(4) Every District Magistrate shall be an Inspector for his district.</p> <p>(5) The State Government may also, by notification as aforesaid, appoint such public officers as it thinks fit to be additional Inspectors for all or any of the purposes of this Act, within such local limits as it may assign to them respectively.</p> <p>(6) In any area where there are more Inspectors than one the State Government may, by notification as aforesaid, declare the powers, which such Inspectors shall respectively exercise and the Inspector to whom the prescribed notices are to be sent.</p> <p>(7) [Every Chief Inspector, Additional Chief Inspector, Joint Chief Inspector, Deputy Chief Inspector, Inspector and every other officer appointed under this section] shall be deemed to be a public servant within the meaning of the Indian Penal Code (45 of 1860), and shall be officially subordinate to such authority as the State Government may specify in this behalf.</p>	<p>に、主任監督官の権限の行使をさせることが適切であると考えらるならば、官報に告示して、多くの主任監督官補佐、共同主任監督官及び副主任監督官及び他の多くの補佐官を任命することができる。</p> <p>(2B) サブセクション (2 A)で任命された主任監督官補佐官、共同主任監督官、副主任監督官及び他の補佐官は、その者が任命された告示で特定された主任監督官の権限に加えて、州全体を通じて監督官としての権限を行使するものとする。]</p> <p>(3) 直接的に、又は間接的に工場に、若しくはプロセス若しくは事業、若しくは関連する特許若しくは機械に利害関係のある者は、第 1 項、第 2 項[第 2A 項]若しくは第 5 項に基づいて任命されず、又は既に任命された者は、その職務を継続することはないものとする。</p> <p>(4) 各地区の治安判事は、彼の地区の監督官であるものとする。</p> <p>(5) 州政府は、上記の告示によって、本法の全目的又は一部の目的のために、監督官補佐であることが適切であると考えらるならば、各州がそれぞれ定める限度内で公務員を監督官補佐として、さらに任命することができる。</p> <p>(6) 監督官の数がより多い地域では、上記の告示により、監督官がそれぞれ行使する権限及び所定の通知を送付する監督官を宣言することができる。</p> <p>(7) [すべての主任監督官、主任監督官補佐、合同主任監督官、副主任監督官及びこのセクションに基づいて任命されたすべての官吏]は、インド刑法（1860 年の法律第 45 号）の意味において公務員とみなされ、州政府がこれに代わって特定することができる権限に正式に従属するものとする。</p>
--	--

<p><b>9. Powers of Inspectors.</b>—Subject to any rules made in this behalf, an Inspector may, within the local limits for which he is appointed,—</p> <p>(a) enter, with such assistants, being persons in the service of the Government, or any local or other public authority, <sup>1</sup>[or with an expert] as he thinks fit, any place which is used, or which he has reason to believe is used, as a factory;</p> <p>[(b) make examination of the premises, plant, machinery, article or substance;</p> <p>(c) inquire into any accident or dangerous occurrence, whether resulting in bodily injury, disability or not, and take on the spot or otherwise statements of any person which he may consider necessary for such inquiry;</p> <p>(d) require the production of any prescribed register or any other document relating to the factory;</p> <p>(e) seize, or take copies of, any register, record or other document or any portion thereof, as he may consider necessary in respect of any offence under this Act, which he has reason to believe, has been committed;</p> <p>(f) direct the occupier that any premises or any part thereof, or anything lying therein, shall be left undisturbed (whether generally or in particular respects) for so long as is necessary for the purpose of any examination under clause (b);</p> <p>(g) take measurements and photographs and make such recordings as he considers necessary for the purpose of any examination under clause (b), taking with him any necessary instrument or equipment;</p> <p>(h) in case of any article or substance found in any premises, being an article or substance which appears to him as having caused or is likely to cause danger to the health or safety of the workers, direct it to be dismantled or subject it to any process or test (but not so as to damage or destroy it unless the same is, in the circumstances necessary, for carrying out the purposes of this Act), and take</p>	<p>9. 監督官の権限 - 監督官は、これに代わって行われた何らかの規則に従うことを条件として、彼が指名された地域の限度において、次の権限がある。 -</p> <p>(a) 地方公共団体その他の公的機関の職員である助手[又は専門家]と共に、彼が工場として使用されていると考えるいかなる場所又は工場として利用されていると信ずる理由がある場所に立ち入ること、</p> <p>[ (b) 建物、プラント、機械、物品又は物質の検査を行うこと;</p> <p>(c) 身体的傷害、障害をもたらすか否かにかかわらず、事故又は危険な事象の発生を調べ、そのような調査に必要と思われる現場又は監督官が尋問する必要があると考える者の供述を取ること、</p> <p>(d) 工場に関する所定の登録簿その他の書類の作成を要求すること。</p> <p>(e) 本法に基づく違反に関して、彼が信ずる理由があるとみなした場合に必要なとみなす登録簿、記録その他の書類若しくはその一部を押収し、又は謄写する。</p> <p>(f) 占有者に (b) に基づく検査のために必要な限度で、その建物又はその一部、又はその中にあるものが何ら妨げられないように（一般的又は特定の観点で）保存すること。</p> <p>(g) (b) に基づく検査のために必要と判断した測定、写真撮影及び録画を行い、必要な計器又は機器を持ち込むこと、</p> <p>(h) 建物内で発見された物品又は物質の場合には、労働者の健康又は安全を危険にさらしていると思われる物品又は物質であるときには、その物品又は物質を解体し、又は処分するよう指示する（ただし、この法律の目的を達成するために必要なために、状況が必要な場合を除き、損傷又は破壊するものではない。）こと、そのような物品又はその一部を所有すること及び そのような検査に必要な</p>
--	---

<p>possession of any such article or substance or a part thereof, and detain it for so long as is necessary for such examination;</p> <p>(i) exercise such other powers as may be prescribed.]</p>	<p>な期間、それを留置すること。</p> <p>(i) 規定されている他の権限を行使する。</p>
<p><b>10. Certifying surgeons.</b>—(1) The State Government may appoint qualified medical practitioners to be certifying surgeons for the purposes of this Act within such local limits or for such factory or class or description of factories as it may assign to them respectively.</p> <p>(2) A certifying surgeon may, with the approval of the State Government, authorise any qualified medical practitioner to exercise any of his powers under this Act for such period as the certifying surgeon may specify and subject to such conditions as the State Government may think fit to impose, and references in this Act to a certifying surgeon shall be deemed to include references to any qualified medical practitioner when so authorised.</p> <p>(3) No person shall be appointed to be, or authorised to exercise the powers of, a certifying surgeon, or having been so appointed or authorised, continue to exercise such powers, who is or becomes the occupier of a factory or is or becomes directly or indirectly interested therein or in any process or business carried on therein or in any patent or machinery connected therewith or is otherwise in the employ of the factory:</p> <p>3[Provided that the State Government may, by order in writing and subject to such conditions as may be specified in the order, exempt any person or class of persons from the provisions of this sub-section in respect of any factory or class or description of factories.]</p> <p>(4) The certifying surgeon shall carry out such duties as may be prescribed in connection with—</p> <p>(a) the examination and certification of young persons under this Act;</p> <p>(b) the examination of persons engaged in factories in such dangerous occupations</p>	<p>10.医師の認定 - (1) 州政府は、この法律の範囲内で、資格のある開業医を、この法律の目的のために、地方の制限内で、又は工場、その分類又は説明のために個別に、認定医師として任命することができる。</p> <p>(2) 認定医師は、州政府の承認を得て、認定医師が指定し、州が考えることができる条件に従う期間、有資格の開業医がこの法律に基づく権限を行使することを認めることができ、この法律における認定医師への言及は、許可を受けた有資格医師への言及を含むものとみなす。</p> <p>(3) 工場の占有者であるか、それになる者又は直接的に若しくは間接的に、そこで行われるプロセス若しくは事業に関連するか、そこでの特許若しくは機械に利害関係があるか、若しくはそのほかその工場の雇用に関連する者は、誰も、認定医師として任命され、その権限を行使し、任命されたことを継続し、その権限の行使を続けることはないものとする。</p> <p>[州政府は、書面で命令し、命令で指定された条件に従うならば、任意の者又は種類の者を、この小区分の規定における工場又は種類から除外することができる。]</p> <p>(4) 認定医師は、関連する次の義務を履行するものとする—</p> <p>(a) この法律に基づく若年者の検査及び認定;</p> <p>(b) 規定されているそのような危険な職業又はプロセスで工場に従事している</p>



<p>or processes as may be prescribed;</p> <p>(c) the exercising of such medical supervision as may be prescribed for any factory or class or description of factories where—</p> <p>(i) cases of illness have occurred which it is reasonable to believe are due to the nature of the manufacturing process carried on, or other conditions of work prevailing, therein;</p> <p>(ii) by reason of any change in the manufacturing process carried on or in the substances used therein or by reason of the adoption of any new manufacturing process or of any new substance for use in a manufacturing process, there is a likelihood of injury to the health of workers employed in that manufacturing process;</p> <p>(iii) young persons are, or are about to be, employed in any work which is likely to cause injury to their health.</p> <p><i>Explanation.</i>—In this section “qualified medical practitioner” means a person holding a qualification granted by an authority specified in the Schedule to the Indian Medical Degrees Act, 1916 (7 of 1916), or in the Schedules to the Indian Medical Council Act, 1933 (27 of 1933)।.</p>	<p>者の検査</p> <p>(c) あらゆる工場若しくは種類若しくは定義に記載されている工場について、次に関する医学的検査を実施すること。</p> <p>(i) その中で行われている製造工程の性質又はそれに支配されている他の作業条件によるものと信じるのが妥当である病気が発生した場合</p> <p>(ii) 実施されている製造プロセスの変更もしくは使用されている物質の変更、又は新たな製造プロセスも敷くは製造プロセスで使用する新たな物質の採用の理由によって、その製造プロセスにおいて雇用された労働者の健康に障害が起こり得る場合</p> <p>(iii) 若者が健康に害を及ぼす可能性のある仕事に雇用されているか、又は雇用しようとしている場合</p> <p>解説 - このセクションでは、「資格を有する開業医」とは、1916 年インド医療法（1916 年法律第 7 号）又は 1933 年インドの医学評議会法（1933 年法律第 27 号）の別表に定められた権限によって与えられた資格を有する者を意味する。</p>
<p><b>10. Certifying surgeons.</b>—(1) The State Government may appoint qualified medical practitioners to be certifying surgeons for the purposes of this Act within such local limits or for such factory or class or description of factories as it may assign to them respectively.</p> <p>(2) A certifying surgeon may, with the approval of the State Government, authorise any qualified medical practitioner to exercise any of his powers under this Act for such period as the certifying surgeon may specify and subject to such conditions as the State Government may think fit to impose, and references in this Act to a certifying surgeon shall be deemed to include references to any qualified medical</p>	<p>10.医師の認定 - (1) 州政府は、この法律の範囲内で、資格のある開業医を、この法律の目的のために、地方の制限内で、又は工場、その分類又は説明のために個別に、認定医師として任命することができる。</p> <p>(2) 認定医師は、州政府の承認を得て、認定医師が指定し、州が考えることができる条件に従う期間、有資格の開業医がこの法律に基づく権限を行使することを認めることができ、この法律における認定医師への言及は、許可を受けた有資格医師への言及を含むものとみなす。</p>

practitioner when so authorised.

(3) No person shall be appointed to be, or authorised to exercise the powers of, a certifying surgeon, or having been so appointed or authorised, continue to exercise such powers, who is or becomes the occupier of a factory or is or becomes directly or indirectly interested therein or in any process or business carried on therein on in any patent or machinery connected therewith or is otherwise in the employ of the factory:

3[Provided that the State Government may, by order in writing and subject to such conditions as may be specified in the order, exempt any person or class of persons from the provisions of this sub-section in respect of any factory or class or description of factories.]

(4) The certifying surgeon shall carry out such duties as may be prescribed in connection with—

(a) the examination and certification of young persons under this Act;

(b) the examination of persons engaged in factories in such dangerous occupations or processes as may be prescribed;

(c) the exercising of such medical supervision as may be prescribed for any factory or class or description of factories where—

(i) cases of illness have occurred which it is reasonable to believe are due to the nature of the manufacturing process carried on, or other conditions of work prevailing, therein;

(ii) by reason of any change in the manufacturing process carried on or in the substances used therein or by reason of the adoption of any new manufacturing process or of any new substance for use in a manufacturing process, there is a likelihood of injury to the health of workers employed in that manufacturing process;

(iii) young persons are, or are about to be, employed in any work which is likely to

(3) 工場の占有者であるか、それになる者又は直接的に若しくは間接的に、そこで行われるプロセス若しくは事業に関連するか、そこでの特許若しくは機械に利害関係があるか、若しくはそのほかその工場の雇用に関連する者は、誰も、認定医師として任命され、その権限を行使し、任命されたことを継続し、その権限の行使を続けることはないものとする。

[州政府は、書面で命令し、命令で指定された条件に従うならば、任意の者又は種類の者を、この小区分の規定における工場又は種類から除外することができる。]

(4) 認定医師は、関連する次の義務を履行するものとする—

(a) この法律に基づく若年者の検査及び認定;

(b) 規定されているそのような危険な職業又はプロセスで工場に従事している者の検査

(c) あらゆる工場若しくは種類若しくは定義に記載されている工場について、次に関する医学的検査を実施すること。

(i) その中で行われている製造工程の性質又はそれに支配されている他の作業条件によるものと信じるのが妥当である病気が発生した場合

(ii) 実施されている製造プロセスの変更もしくは使用されている物質の変更、又は新たな製造プロセスも敷くは製造プロセスで使用する新たな物質の採用の理由によって、その製造プロセスにおいて雇用された労働者の健康に障害が起こり得る場合

(iii) 若者が健康に害を及ぼす可能性のある仕事に雇用されているか、又は雇用

<p>cause injury to their health.</p> <p><i>Explanation.</i>—In this section “qualified medical practitioner” means a person holding a qualification granted by an authority specified in the Schedule to the Indian Medical Degrees Act, 1916 (7 of 1916), or in the Schedules to the Indian Medical Council Act, 1933 (27 of 1933)<sup>1</sup>.</p>	<p>しようとしている場合</p> <p>解説 - このセクションでは、「資格を有する開業医」とは、1916 年インド医療法（1916 年法律第 7 号）又は 1933 年インドの医学評議会法（1933 年法律第 27 号）の別表に定められた権限によって与えられた資格を有する者を意味する。</p>
--	---

<p><b>CHAPTER XI</b></p> <p><b>SUPPLEMENTAL</b></p>	<p><b>第 11 章</b></p> <p><b>補則</b></p>
<p><b><u>112. General power to make rules.—The State Government may make rules providing for any matter which, under any of the provisions of this Act, is to be or may be prescribed or which may be considered expedient in order to give effect to the purposes of this Act.</u></b></p>	<p><b>112 規則を制定する一般的な権限—</b>州政府は、この法律のいずれかの規定に基づき、この法律の目的に効果を与えるために、定められるべきであり、若しくは定められる可能性があり、又は妥当であると考えられるいかなる事項についても、規則を制定することができる。</p>
<p><b><u>113. Powers of Centre to give directions.—The Central Government may give directions to a State Government to the carrying into execution of the provisions of this Act.</u></b></p>	<p><b>113 中央政府が支持を与える権限—</b>中央政府は、この法律の規定を実行するために、州政府に指示を与えることができる。</p>

V-4 THE DOCK WORKERS (SAFETY, HEALTH AND WELFARE) ACT, 1986 (ドック労働者(安全、衛生及び福祉)法、1986年)  
の目次全文の「英語原文—日本語仮訳」

[原典の所在 : <https://labour.gov.in/industrial-safety-health>]

[原典の名称 : The Dock Workers (Safety, Health & Welfare) Act, 1986]

英語原文	日本語仮訳
SECTIONS	条文
1. Short title, extent, commencement and application.	1.短いタイトル、範囲、開始及び適用
2. Definitions.	2. 定義
3. Inspectors.	3. 監督官
4. Powers of Inspectors.	4. 監督官の権限
5. Powers of Inspectors where employment of dock workers are dangerous.	5.ドック労働者の雇用が危険な場合における監督官の権限
6. Facilities to be afforded to an Inspector.	6.監督官に供されるべき施設
7. Restrictions on disclosure of information.	7. 情報開示の制限
8. Appeal.	8.不服申し立て
9. Advisory Committee.	9.諮問委員会
10. Power of appropriate Government to direct inquiry into cases of accidents or diseases.	10.事故又は疾病の事例を直接調査するための適切な政府の権限
11. Obligations of dock workers.	11.埠頭労働者の義務
12. Power to exempt.	12.免除の権限
13. Protection of action taken in good faith.	13.善意で行われた措置の保護
14. Penalties.	14.罰則
15. Determination of the persons responsible for the offence in certain cases.	15.特定の場合には、違反の責任者の決定
16. Power of court to make orders.	16.命令を出す裁判所の権限

17. Provisions relating to jurisdiction.	17.管轄に関する規定
18. Provision regarding fine.	18.罰金に関する規定
19. General provision for punishment for other offences.	19.その他の違反に対する罰則の一般規定
20. Power to make rules.	20.規則を作る権限
21. Power to make regulations.	21.規程を作る権限
22. General provision relating to rules and regulations.	22.規則及び規程に関連する一般規定
23. Amendment of Act 9 of 1948.	23. 1948 年法律第 9 号の改正
24. Repeal.	24.廃止
25. Savings.	25.準用

V-5 ドック労働者（安全、衛生及び福祉）法、1986 年同法の適用対象である“**dock work**”（ドック作業）及び“**dock worker**”（ドック労働者）の定義「の英語原文—日本語対訳」

#### ○ “**dock worker**”（ドック労働者）の定義

英語原文	日本語仮訳
“dock worker” means a person employed or to be employed directly or by or through any agency (including a contractor) with or without knowledge of the principal employer, whether for remuneration or not, on dock work;	「ドック労働者」とは、直接に、又は代理者（請負者を含む。）を通じて、主要な使用者の知識の有無にかかわらずまた、報酬の有無にかかわらず、ドック作業に雇用されている者を意味する。

#### ○“**dock work**”（ドック作業）の定義

英語原文	日本語仮訳
“dock work” means any work in or within the vicinity of any port in connection with, or required for, or incidental to, the loading, unloading, movement or storage of cargoes into or from ship or other vessel, port, dock, storage place or landing place, and includes—	「ドック作業」とは、港の中又はその近隣の地域で、船舶、他の船舶、港、埠頭（ドック）、貯蔵場所、荷上げ場所の内部若しくは船舶から、貨物の荷上げ、荷下ろし、移動又は貯蔵と関連して、要求される、若しくは偶発的な作業を意味し、次のものを含む。

<p>(i) work in connection with the preparation of ships or other vessels for receipt or discharge of cargoes or leaving port; and</p> <p>(ii) chipping, painting or cleaning of any hold, tank, structure or lifting machinery or any other storage area in board the ship or in the docks;</p>	<p>(i) 貨物の受取り若しくは払い出し又は港を出るための船舶若しくは他の船舶の準備に関連して作業すること。そして</p> <p>(ii) 船上で、又は埠頭で、船倉、タンク、構造物若しくは荷上げ機械若しくは他の貯蔵区域の削り取り作業、塗装又は清掃</p>
---	--

**V－6 THE OCCUPATIONAL SAFETY, HEALTH AND WORKING CONDITIONS CODE, 2019 AS INTRODUCED IN LOK SABHA Bill No. 186 of 2019**  
**(労働安全衛生及び労働条件に関する法典案:2019 年第 186 号)の目次及び主要条項（抜粋）の「英語原文—日本語仮訳」**

[原典の所在 : [https://labour.gov.in/sites/default/files/186\\_2019\\_LS\\_Eng\\_0.pdf](https://labour.gov.in/sites/default/files/186_2019_LS_Eng_0.pdf)]

[原典の名称 : THE OCCUPATIONAL SAFETY, HEALTH AND WORKING CONDITIONS CODE, 2019 AS INTRODUCED IN LOK SABHA Bill No. 186 of 2019]

**V－6－1 THE OCCUPATIONAL SAFETY, HEALTH AND WORKING CONDITIONS CODE, 2019 AS INTRODUCED IN LOK SABHA Bill No. 186 of 2019**(労働安全衛生及び労働条件に関する法典案:2019 年第 186 号)の目次全文の「英語原文—日本語仮訳」

原典の英語前文	左欄の日本語仮訳
THE OCCUPATIONAL SAFETY, HEALTH AND WORKING CONDITIONS CODE, 2019	2019 年職業安全衛生、衛生及び労働条件法典案
ARRANGEMENT OF CLAUSES	条項の配列
CHAPTER I PRELIMINARY CLAUSES 1. Short title, extent, commencement and application. 2. Definitions.	第 1 章 序文  1 略称、範囲、施行開始及び適用 2 定義
CHAPTER II REGISTRATION 3. Registration of certain establishments. 4. Appeal. 5. Notice by employer of commencement and cessation of operation.	第 2 章 登録 3 特定の事業所の登録 4 控訴 5 事業の開始及び停止の使用による届け出
CHAPTER III DUTIES OF EMPLOYER AND EMPLOYEES, ETC.	第 3 章 使用者及び被雇用者の義務等



6. Duties of employer. 7. Duties and responsibilities of owner, agent and manager in relation to mine. 8. Duties of manufacturers, designer, importers or suppliers. 9. Duties of architects, project engineers and designers. 10. Notice of certain accident. 11. Notice of certain dangerous occurrences. 12. Notice of certain diseases. 13. Duties of employees. 14. Rights of employee. 15. Duty not to interfere with or misuse things.	6 使用者の義務 7 鉱山に関する所有者、代理人及び管理者の義務及び責任 8 製造業者、設計者、輸入業者又は供給者の義務 9 建築家、プロジェクトエンジニア、デザイナーの職務。 10 特定の事故の届け出 11 特定の危険が発生した場合の届け出 12 特定の病気についての届け出 13 被雇用者の義務 14 被雇用者の権利 15 物事に干渉したり、又は誤用したりしない義務
CHAPTER IV OCCUPATIONAL SAFETY AND HEALTH 16. National Occupational Safety and Health Advisory Board. 17. State Occupational Safety and Health Advisory Board. 18. Occupational safety and health standards. 19. Research related activities. 20. Safety and occupational health surveys. 21. Statistics. 22. Safety Committee and safety officers.	第 4 章 職業上の安全及び衛生 16 全国労働安全衛生諮問委員会 17 州労働安全衛生諮問委員会 18 労働安全衛生基準 19 研究関連活動 20 安全及び労働衛生調査 21 統計 22 安全委員会及び安全管理者
CHAPTER V HEALTH AND WORKING CONDITIONS 23. Responsibility of employer for maintaining health and working conditions.	第 5 章 衛生及び労働条件 23 衛生及び労働条件を維持するための使用者の責任
CHAPTER VI WELFARE PROVISIONS	第 6 章 福祉規定

24. Welfare facilities in the establishment, etc.	24 事業所内の福祉施設等
CHAPTER VII HOURS OF WORK AND ANNUAL LEAVE WITH WAGES	第 7 章 労働時間及び年次有給休暇
25. Weekly and daily working hours, leave, etc.	25 1 週間及び 1 日の労働時間、休憩等
26. Weekly and compensatory holidays.	26 週休及び代休等
27. Extra wages for overtime.	27 時間外労働の割増賃金
28. Night shifts.	28 夜間勤務
29. Prohibition of overlapping shifts.	29 重複勤務の禁止
30. Restriction on double employment in factory and mine.	30 工場及び鉱山での二重雇用の制限
31. Notice of periods of work.	31 勤務期間の通知
32. Annual leave with wages, etc.	32 賃金等を伴う年次休暇等
CHAPTER VIII MAINTENANCE OF REGISTERS, RECORDS AND RETURNS	第 8 章 登録、記録及び復帰の維持管理
33. Maintenance of registers and records and filing of returns.	33. 登録及び記録の維持管理並びに復帰の記録
CHAPTER IX INSPECTOR-CUM-FACILITATORS AND OTHER AUTHORITY	第九章 検査官兼指導官及びその他の権限
34. Appointment of Inspector-cum-Facilitators.	34 監査官兼指導官の任命
35. Powers of Inspector-cum-Facilitators.	35 監察官兼指導官の権限
36. Powers and duties of District Magistrate.	36 地方の執行官の権限及び義務
37. Third party audit and certification.	37 第三者による監査及び認定
38. Special powers of Inspector-cum-Facilitator in respect of factory, mines and dock work and building and other construction work.	38 工場、鉱山、ドック工事、建築その他の建設工事に関する検査官兼指導官の特別な権限
39. Secrecy of information by Chief Inspector-cum-Facilitator or Inspector-cum-Facilitator, etc.	39 主席検査官兼指導官又は検査官兼指導官による情報の秘密保持等
40. Facilities to be afforded to the Inspector-cum-Facilitator.	40 検査官兼指導官に提供される施設
41. Powers of special officer to enter, measure, etc., in relation to	41 特別な担当官が鉱山に関連して立ち入り、測定等を行う権限

mine. 42. Medical Officer.	42 医務官
CHAPTER X SPECIAL PROVISION RELATING TO EMPLOYMENT OF WOMEN 43. Employment of women in night. 44. Prohibition of employment of women in dangerous operation.	第十章 女性の雇用に関する特則  43 夜間の女性の雇用。 44 危険な作業における女性の雇用の禁止
CHAPTER XI SPECIAL PROVISIONS FOR CONTRACT LABOUR AND INTER-STATE MIGRANT WORKER, ETC.	第 11 章 請負労働者及び国境を越えた移民労働者等のための特則
PART I CONTRACT LABOUR AND INTER-STATE MIGRANT WORKER 45. Applicability of this Part. 46. Appointment of licensing officers. 47. Licensing of contractors. 48. Grant of licence. 49. No fees or commission or any cost to workers. 50. Information regarding work order to be given to the appropriate Government. 51. Revocation, suspension and amendment of licence. 52. Appeal. 53. Liability of principal employer for welfare facilities. 54. Effect of employing contract labour from a non-licenced contractor. 55. Responsibility for payment of wages. 56. Experience certificate.	第 1 部 請負労働者及び国境を越えた移動労働者 45 この部の適用性 46 免許担当者の任命 47 請負業者の免許 48 免許の付与 49 労働者への手数料、手数料、費用は一切なし 50 作業命令に関する情報を適切な政府に提供すること 51 免許の取り消し、停止、修正 52 不服申立て 53 福祉施設の主たる使用者の責任 54 無許可業者から契約労働者を雇用した場合の効果  55 賃金の支払い責任 56 経験証明書 57 請負労働者の雇用の禁止

57. Prohibition of employment of contract labour. 58. Power to exempt in special cases. 59. Facilities to Inter-State Migrant workers. 60. Displacement allowance. 61. Journey allowance, etc. 62. Past liabilities.	58 特別な場合の免除権 59 州間移民労働者のための施設 60 転居手当 61 旅費等 62 過去の負債
PART II AUDIO-VISUAL WORKERS 63. Prohibition of employment of audio-visual worker without agreement.	第Ⅱ部 視聴覚（オーディオビジュアル）労働者 63 視聴覚労働者の無契約雇用の禁止
PART III MINES 64. Managers. 65. Code not to apply in certain cases. 66. Exemption from provision regarding employment. 67. Employment of persons below eighteen years of age. 68. Decision of question whether a mine is covered under this Code.	第Ⅲ部 鉱山 64 管理者 65 特定の場合に適用されない法典 66 雇用に関する規定の免除 67 18歳未満の者の雇用 68 鉱山がこの法典の対象となるかどうかの判断
PART IV BEEDI AND CIGAR WORKERS 69. Licence to industrial premises and person. 70. Appeals. 71. Permission to work by employees outside industrial premises. 72. Part not to apply to self-employed persons in private dwelling houses.	第Ⅳ部 煙草の葉をそのまま巻いた煙草及び葉巻煙草労働者（BEEDI AND CIGAR WORKERS） 69 産業用施設及び人への免許 70 不服申立て 71 事業所外での被雇用者の作業の許可 72 民間住宅の自営業者に適用されない部分
PART V BUILDING AND OTHER CONSTRUCTION WORKERS	第Ⅴ部 建築及びその他の建設作業員

73. Prohibition of employment of certain persons in certain building or other construction work.	73 特定の建築物その他の建設工事における特定の者の雇用の禁止
<p>PART VI</p> <p>FACTORIES</p> <p>74. Approval and licensing of factories.</p> <p>75. Liability of owner of premises in certain circumstances.</p> <p>76. Power to apply the Code to certain premises.</p> <p>77. Dangerous operations.</p> <p>78. Constitution of site appraisal committee.</p> <p>79. Compulsory disclosure of information by occupier.</p> <p>80. Specific responsibility of occupier in relation to hazardous processes.</p> <p>81. National Board to Inquire into certain situations.</p> <p>82. Emergency standards.</p> <p>83. Permissible limits of exposure of chemicals and toxic substances.</p> <p>84. Right of workers to warn about imminent danger.</p> <p>85. Appeal against the order of Inspector-cum-Facilitator in case of factory.</p> <p>86. Power to make exempting rules and order.</p>	<p>第VI部</p> <p>工場</p> <p>74 工場の認可及び許可</p> <p>75 一定の状況下での敷地所有者の責任</p> <p>76 特定の敷地にこの規定を適用する権限</p> <p>77 危険な作業</p> <p>78 敷地評価委員会の構成</p> <p>79 占有者による情報の強制開示</p> <p>80 危険なプロセスに関する占有者の具体的な責任</p> <p>81 特定の状況を調査するための国家委員会</p> <p>82 緊急時の基準</p> <p>83 化学物質及び有害物質の許容ばく露限度</p> <p>84 差し迫った危険について警告する労働者の権利</p> <p>85 工場の場合の検査官兼指導官の命令に対する不服申立</p> <p>86 免除規則及び命令を作成する権限</p>
<p>CHAPTER XII</p> <p>OFFENCES AND PENALTIES</p> <p>87. General penalty for offences.</p> <p>88. Punishment for causing obstruction to Chief Inspector-cum-Facilitator or Inspector-cum-Facilitator, etc.</p> <p>89. Penalty for non-maintenance of register, records and non-filing of returns, etc.</p>	<p>第12章</p> <p>違反及び罰則</p> <p>8 違反に対する一般的な罰則</p> <p>88 主任検査官兼指導官又は検査官兼指導官等を妨害した場合の罰則</p> <p>89 登記及び記録の不備並びに復帰の記録及び保存の不実行等に対する罰則</p>

90. Punishment for contravention of certain provisions.	90 特定の規定に違反した場合の罰則
91. Punishment for falsification of records, etc.	91 記録等を改ざんした場合の罰則
92. Penalty for omission to furnish plans, etc.	92 計画書等の提出を怠った場合の罰則
93. Punishment for disclosure of information.	93 情報公開の罰則
94. Penalty for wrongfully disclosing results of analysis.	94 分析結果を不当に開示した場合の罰則
95. Penalty for contravention of provisions of duties relating to hazardous processes.	95 危険工程に関する義務の規定に違反した場合の罰則
96. Penalty for contravention of the provisions of duties relating to safety provisions resulting in an accident.	96 安全規定に関する職務の規定に違反して事故を起こした場合の罰則
97. Special provision for contravention of order under section 38.	97 第38条の規定による命令に違反した場合の特則
98. Failure to appoint manager in mine.	98 鉱山における管理者の選任の懈怠
99. Offences by employees.	99 被雇用者による違反行為
100. Prosecution of owner, agent or manager of a mine.	100 鉱山の所有者、代理人又は管理者の訴追
101. Exemption of owner, agent or manager of a mine or occupier of a factory from liability in certain cases.	101 鉱山の所有者、代理人、経営者又は工場の占有者の特定の場合の責任の免除
102. Offences by companies, etc.	102 会社等による犯罪
103. Limitation of prosecution and cognizance of offence.	103 訴追の制限及び犯罪の認定
104. Power of officers of appropriate Government to impose penalty in certain cases.	104 一定の場合に罰則を課すための適切な政府の官吏の権限
105. Jurisdiction of a court for entertaining proceedings, etc., for offence.	105 違反行為の訴訟手続等を行う裁判所の管轄
106. Power of court to make orders.	106 裁判所の命令権
107. Compounding of offences.	107 犯罪の併合
CHAPTER XIII MISCELLANEOUS	第13章 雑則
108. Delegation of powers.	108 権限の委譲

109. Onus as to age.	109 年齢に関する責任
110. Onus of proving limits of what is practicable, etc.	110 実践可能な範囲等の証明責任
111. Common licence for contractor, factories and to industrial premises and person.	111 請負業者、工場及び工業施設人のための共通の免許
112. Effect of law and agreements inconsistent with this Code.	112 この規定と矛盾する法律及び協定の効力
113. Power of appropriate Government to direct inquiry in certain cases.	113 特定の場合に調査を指示するための適切な政府の権限
114. Publication of reports.	114 報告書の公表
115. Powers of Central Government to give directions.	115 指示を与える中央政府の権限
116. General restriction on disclosure of information.	116 情報開示の一般的な制限
117. Jurisdiction of civil courts barred.	117 民事裁判所の管轄の禁止
118. Protection of action taken in good faith.	118 善意で行われた行為の保護
119. Power to exempt in special cases.	119 特別な場合の免責権
120. Power to exempt during public emergency.	120 公衆の緊急時に免除する権限
121. Power to exempt public institution.	121 公的機関を免除する権限
122. Persons required to give notice, etc., legally bound to do so.	122 届け出等をしなければならない者は、法的に拘束される
123. Power of Central Government to amend Schedule.	123 別表を修正する中央政府の権限
124. Power to remove difficulties.	124 困難を除去する権限
125. Power of appropriate Government to make rules.	125 規則を作るための適切な政府の権限
126. Power of Central Government to make rules.	126 規則を作る中央政府の権限
127. Power of State Government to make rules.	127 規則を作成する州政府の権限
128. Power of Central Government to make regulations in relation to mines and dock work.	128 鉱山及び港湾工事に係る規則を制定する中央政府の権限
129. Prior publication of rules, etc.	129 規則等の事前公表
130. Power to make regulation without previous publication.	130 事前に公表されていない規制を行う権限
131. Bye-laws.	131. 準則



132. Laying of regulations, rules and bye-laws, etc., before Parliament.	132. 規則、規程及び準則細則等を議会に提出すること
133. Laying of rules made by State Government.	133 州政府が作成した規則の設定
134. Repeal and savings.	134 廃止及び留保
THE FIRST SCHEDULE.	別表第 1
THE SECOND SCHEDULE	別表第 2
THE THIRD SCHEDULE.	別表第 3

V－6－2 THE OCCUPATIONAL SAFETY, HEALTH AND WORKING CONDITIONS CODE, 2019 AS INTRODUCED IN LOK SABHA Bill No. 186 of 2019 (労働安全衛生及び労働条件に関する法典案:2019 年第 186 号)の主要条項(抜粋)の「英語原文—日本語仮訳」

(資料作成者注：特に、英国の「**Health and Safety at Work etc. Act 1974**」(職場における保健安全法)の著名な別記の(本稿の 54 ページを参照されたい。)条項(so far as is reasonably practicable (合理的に実行可能な限りにおいて))に類似するインドの **Factory Act 1948 年**(工場法 1948 年)の相当規定及び「労働安全衛生及び労働条件法典案 2019」中の使用者の安全衛生管理義務を規定しているセクション 6 中の相当規定については、それぞれ、赤字で示している。

英語原文	日本語仮訳
CHAPTER III DUTIES OF EMPLOYER AND EMPLOYEES, ETC.	<b>第 3 章</b> <b>使用者及び被雇用者の義務等</b>
<b>6. (1)</b> Every employer shall,— (a) ensure that workplace is free from hazards which cause or are likely to cause injury or occupational disease to the employees; (b) comply with the Occupational Safety and Health standards made under this Code and of the regulations, rules, bye-laws and orders made thereunder; (c) provide such annual health examination or test free of costs to such employees of such age or such class of employees or establishments or such	6. (1) すべての使用者は、次のことをしなければならない。 (a) 被雇用者に危害若しくは職業病の原因となる、又はそのおそれのある危険がない職場を確保すること。 (b) この法典の下で作られた労働安全衛生基準及びそれに基づいて作られた規則、準則及び命令を遵守すること。 (c) 適切な政府の定める年齢、被雇用者の種類、事業所又は事業所の種類の被雇用者に対して、年に 1 度の健康診断又は検査を無料で提供すること。

<p>class of establishments, as may be prescribed by the appropriate Government;</p> <p>(d) provide and maintain, <b>as far as is reasonably practicable</b>, a working environment that is safe and without risk to the health of the employees;</p> <p>(e) ensure the disposal of hazardous and toxic waste including disposal of e-waste;</p> <p>(f) issue a letter of appointment to every employee on his appointment in the establishment, with such information as may be prescribed by the appropriate Government and where an employee has not been issued such appointment letter on or before the commencement of this Code, he shall, within three months of such commencement, be issued such appointment letter;</p> <p>(g) ensure that no charge is levied on any employee, in respect of anything done or provided for maintenance of safety and health at workplace including conduct of medical examination and investigation for the purpose of detecting occupational diseases;</p> <p>(h) ensure and be responsible for the safety and health of persons who are in the work premises of the factory, mine, dock work, building or other construction work or plantation, with or without the knowledge of such employer, as the case may be.</p>	<p>(d) <b>合理的に実行可能な限り</b>、安全で、被雇用者の健康を損なうことのない労働環境を確保すること。</p> <p>(e) e-waste を含む有害・有毒廃棄物の処理を確実に行うこと。</p> <p>(f) すべての被雇用者に任命書を発行すること。</p> <p>(g) 被雇用者は、適切な政府が定める情報を添えて、その事業所に赴き、本規程の開始前に任命書が発行されていない場合には、その開始から 3 ヶ月以内に任命書が発行されなければならない。</p> <p>(g) 職業病の発見を目的とした健康診断及び調査の実施を含む、職場の安全と健康の維持のために行われたこと又は提供されたことに関して、いかなる被雇用者にも料金が課されないことを保証すること。</p> <p>(h) 使用者が知識を有するかどうかにかかわらず、工場、鉱山、港湾作業、建物若しくはその他の建設作業又はプランテーションの作業場にいる人の安全及び健康を確保し、その責任を負うこと。</p>
<p>7. (1) The owner and agent of every mine shall jointly and severally be responsible for making financial and other provisions and for taking such other steps as may be necessary for compliance with the provisions of this Code and the regulations, rules, bye-laws and orders made thereunder.</p> <p>(2) In the event of any contravention by any person whosoever of any of the provisions of this Code or of the rules, regulations, bye-laws or orders made</p>	<p>7.(1) すべての鉱山の所有者及び代理人は、連帯して、この法典並びにこれに基づく規則、準則及び命令の規定を遵守するために必要な、財政的その他の規定及びその他の措置を講じる責任を負わなければならない。</p> <p>(2) この法典又はこれに基づく規則、準則若しくは命令のいずれかに違反したときは、違反した者以外にも、この法典又はこれに基づく規則、準則若しくは命</p>

<p>thereunder, relating to mine, except those which specifically require any person to do any act or thing or prohibit any person from doing an act or thing, besides the person who contravenes, then, each of the following persons shall also be deemed to be guilty of such contravention unless he proves that he had used due diligence to secure compliance with the provisions and had taken reasonable means to prevent such contravention, namely:—</p> <p>(a) the official or officials appointed to perform duties of supervision in respect of the provisions contravened;</p> <p>(b) the manager of the mine;</p> <p>(c) the owner and agent of the mine;</p> <p>(d) the person appointed, if any, to carry out the responsibility under section 24.</p> <p>(3) It shall not be a defence in any proceedings brought against the owner or agent of a mine under this section that the manager and other officials have been appointed in accordance with the provisions of this Code or that a person to carry the responsibility under section 24 has been appointed.</p>	<p>令のいずれかに違反した者があるときは、その者がその規定の遵守を確保するために十分な注意を払ったこと及びその違反を防止するために合理的な手段を講じたことを証明しない限り、次の各号に掲げる者も、その違反をした者として有罪とする。</p> <p>すなわち、</p> <p>(a) 職員又は違反した規定について監督の職務を行うために任命された管理者</p> <p>(b) 当該鉱山の管理者</p> <p>(c) 当該鉱山の所有者及び代理人</p> <p>(d) 第 24 条の責任を遂行するために任命された者がいる場合には、そのもの</p> <p>(3) この節の規定により鉱山の所有者又は代理人に対して提起された訴訟手続において、この法典の規定により管理者その他の職員が選任されたこと又は第 24 条の責任を負う者が選任されたことは、抗弁とならない。</p>
<p>8. (1) Every person who designs, manufactures, imports or supplies any article for use in any establishment shall—</p> <p>(a) ensure <b>so far as is reasonably practicable</b>, that the article is so designed and constructed in the establishment as to be safe and without risk to the health of the workers when properly used;</p> <p>(b) carry out or arrange for the carrying out of such tests and examination in the establishment as may be considered necessary for the effective implementation of the provisions of clause (a);</p> <p>(c) take out steps as may be necessary to ensure that adequate information</p>	<p>8. (1) 施設で使用するための物品を設計、製造、輸入又は供給する者は、すべて、</p> <p>(a) <b>合理的に実行可能な範囲内で</b>、適切に使用された場合に安全で労働者の健康に対するリスクがないように、成形品が施設内で設計及び構築されていることを確実にしなければならない。</p> <p>(b) (a)項の規定を効果的に実施するために必要と考えられる試験及び検査を事業所内で実施し、又はその実施を手配しなければならない。</p> <p>(c) 十分な情報が利用可能になるようにするために必要な措置を講じなければ</p>

<p>will be available—</p> <p>(i) in connection with the use of the article in any establishment;</p> <p>(ii) about the use for which such article is designed and tested; and</p> <p>(iii) about any conditions necessary to ensure that the article, when put to such use, shall be safe, and without risk to the health of the workers:</p> <p>Provided that where an article is designed or manufactured outside India, then it shall be obligatory on the part of the importer to see—</p> <p>(A) that the article conforms to the same standards of such article manufactured in India; or</p> <p>(B) that, if the standards adopted in the country outside India for the manufacture of such article is above the standards adopted in India, then the article conforms to such standards in such country; or</p> <p>(C) that, if there is no standard of such article in India, then, the article conforms to the standard adopted in the country from where it is imported at its national level.</p> <p>(2) The designer, manufacturer, importer or supplier shall also comply with such duties as the Central Government may, in consultation with the National Occupational Safety and Health Advisory Board, by regulations specify.</p> <p>(3) Every person, who undertakes to design or manufacture any article and substance for use in any factory, may carry out or arrange for the carrying out of necessary research with a view to the discovery and, so far as is reasonably, practicable, the elimination or minimisation of any risks to the health or safety of the workers to which the design or manufacture of article and substance may give rise to such risk.</p>	<p>ならない。</p> <p>(i) 施設における当該成形品の使用に関連して、</p> <p>(ii) 当該成形品が設計され試験された用途に関して、</p> <p>(iii) その用途に供する場合において、その物品が安全であり、かつ、労働者の健康を損なうおそれのないものであることを確保するために必要な条件について</p> <p>ただし、物品がインド国外で設計又は製造された場合には、輸入者は、その物品について、次のことを調べることを義務付けるものとする。</p> <p>(A) インドで製造された当該物品の同じ規格に適合していること。</p> <p>(B) 当該成形品の製造のためにインド以外の国で採用されている基準がインドで採用されている基準を上回っている場合には、当該成形品は当該国で採用されている基準に適合していること。</p> <p>(C) インドにそのような成形品の規格がない場合には、その成形品は、その国で採用された規格に適合していること。</p> <p>(2) 設計者、製造者、輸入者又は供給者は、中央政府が国家労働安全衛生諮問委員会と協議の上、規則で定める義務を遵守しなければならない。</p> <p>(3) 物品を設計し、又は製造することを業とする者であつて、物品を工場で使用するために、成形品及び物質の設計又は製造がそのようなリスクを引き起こす可能性のある労働者の健康又は安全に対するリスクを発見し、合理的に、実行可能な限り、排除又は最小化することを目的として、必要な研究を実施し、又は実施するために手配してもよい。</p>
---	--

<p>(4) Nothing contained in sub-sections (1) and (2) shall be construed to require a person to repeat the testing, examination or research which has been carried out otherwise than by him or at his instance <b>in so far as it is reasonable for him to</b> rely on the results thereof for the purposes of the said sub-sections.</p> <p>(5) Any duty imposed on any person by sub-sections (1) and (2) shall extend only to things done in the course of business carried on by him and to matters within his control.</p> <p>(6) Every person,—</p> <p>(a) who erects or instal any article for use in a factory, shall ensure, <b>so far as practicable</b>, that such article so erected or installed does not make it unsafe or a risk to health when that article is used by the persons in such factory;</p> <p>(b) who manufactures, imports or supplies any substance for use in any factory shall—</p> <p>(i) ensure, <b>so far as practicable</b>, that such substance is safe and has no risks involved to health of persons working in such factory;</p> <p>(ii) carry out or arrange for carrying out of such tests and examination in relation to such substance as may be necessary;</p> <p>(iii) take such steps as are necessary to secure that the information about the results of tests carried out in connection with the use of the substance as referred to in sub-clause (ii) is available in a factory along with conditions necessary to ensure its safe use and no risks to health;</p> <p>(c) undertake the manufacture of any substance for use in any factory to carry out or arrange for the carrying out of any necessary research with a view to discover and, so far as practicable, to ensure the elimination or minimisation of any risks to health or safety to which the substance may give</p>	<p>(4) 第1号及び第2号の規定は、<b>その結果に依拠することが合理的である限りにおいて</b>、その者が自ら又はその者の判断により行われた以外の方法で行われた試験、検査又は調査を繰り返すことを要求するものと解釈されてはならない。</p> <p>(5) 第1号及び第2号によりいなかる者に課せられた義務は、その者が行う業務の過程で行われたもの及びその者の管理下にあるものに限る。</p> <p>(6) それぞれの者は、</p> <p>(a) 工場で使用するための物品を建立し、又は設置する者は、<b>可能な限り</b>、当該物品が当該工場の者によって使用されたときに、当該物品が不安全をもたらすことがないか、又は健康を害するおそれがないことを保証しなければならない。</p> <p>(b) どの工場においても、使用するための物質を製造し、輸入し、又は供給する者は、次のことを行わなければならない。</p> <p>(i) <b>実行可能な限りにおいて</b>、当該物質が安全であり、かつ、そのような工場で働く者の健康に危険がないこと保証すること。</p> <p>(ii) 必要ならば、そのような物質について試験及び検査を実施するか、又は実施のための手配をすること。</p> <p>(iii) 第2号に掲げる物質の使用に関連して行われた試験の結果に関する情報が、その安全な使用及び健康への危険性がないことを確保するために必要な条件とともに工場において入手可能であることを確保するために必要な措置を講ずること。</p> <p>(c) 工場で使用するための物質の製造を引き受けることで、そのような製造又は研究から物質が生じる可能性のある健康又は安全に対するリスクの排除又は最小化を確実にするために、必要な研究を実施し、又は 実施の手配をすること。</p>
--	--

<p>rise out of such manufacture or research;</p> <p>(7) For the purposes of this section, an article and substance is not to be regarded as properly used, if they are used without regard to any information or advice relating to their use which has been made available by the person who has designed, manufactured, imported or supplied the article and substance.</p> <p><i>Explanation.</i>—For the purpose of this section—</p> <p>(a) “article” shall include plant and machinery;</p> <p>(b) “substance” means any natural or artificial substance whether in a solid or liquid form or in the form of a gas or vapour; and</p> <p>(c) “substance for use in any factory” means any substance whether or not intended for use by persons working in a factory.</p>	<p>(7) この条文の目的のために、成形品及び物質を設計、製造、輸入又は供給した者から入手可能なその使用に関する情報又は 助言を無視して使用した場合には、その成形品及び物質は適切に使用されたものとみなされない。</p> <p><i>説明</i>—この条文の目的のために-</p> <p>(a) 「成形品」には、植物及び機械を含むものとする。</p> <p>(b) 「物質」とは、固体若しくは液体の形態であるか、又は気体若しくは蒸気の形態であるかを問わず、天然又は人工の物質を意味する。</p> <p>(c) 「工場で使用するための物質」とは、工場で働く人が使用することを意図しているか否かにかかわらず、あらゆる物質を意味する。</p>
<p>9. (1) It shall be the duty of the architect, project engineer or designer responsible for any building or other construction work or the design of any project or part thereof relating to such building or other construction work to ensure that, at the planning stage, due consideration is given to the safety and health aspects of the building workers and employees who are employed in the erection, operation and execution of such projects and structures, as the case may be.</p> <p>(2) Adequate care shall be taken by the architect, project engineer and other professionals involved in the project referred to in sub-section (1), not to include anything in the design which would involve the use of dangerous structures or other processes or materials, hazardous to health or safety of building workers and employees during the course of erection, operation and execution, as the case may be.</p> <p>(3) It shall also be the duty of the professionals, involved in designing the</p>	<p>9. (1) 建築物その他の建築工事又は建築物その他の建設工事に関連するプロジェクト若しくはその一部の設計に責任を有する建築家、プロジェクトエンジニア又は設計者は、計画の段階で、建築物の建設、運営及び構造物の建設に従事する建築労働者及び被雇用者の安全及び健康面に十分な配慮がなされていることを確認することが義務とされなければならない。</p> <p>(2) 第 1 項の事業に携わる建築士、プロジェクトエンジニア及びその他の専門家は、その設計において、建築物の建設、運用及び実行の過程で、建築物の労働者及び被雇用者の健康又は安全に有害な危険な構造物その他の工程又は材料の使用を伴うようなものが含まれていないよう、十分な注意を払わなければならない。</p> <p>(3) 建築構造物又はその他の建設事業の設計に携わる専門家は、構造物及び建</p>

buildings structures or other construction projects, to take into account the safety aspects associated with the maintenance and upkeep of the structures and buildings where maintenance and upkeep may involve special hazards.	建築物の維持管理及び維持管理に関連して、特別な危険を伴う可能性がある場合には、その維持管理に関連する安全面を考慮に入れることも義務でなければならない。
---	---



## V-7 インドの Factory Act 1948 年（工場法 1948 年）と “The Occupational Safety, Health & Working Conditions Code (draft), 2019(労働安全衛生及び労働条件法典案 2019)とにおける主要条項の対比

(資料作成者注：以下本稿では「“The Occupational Safety, Health & Working Conditions Code (draft), 2019(労働安全衛生及び労働条件法典案 2019)」を以下単に「労働安全衛生及び労働条件法典案 2019」といいます。)

2018 年 11 月作成

2020 年 8 月改訂

(この資料作成者の注)

- 1 次の表の左欄には、インドの Factory Act 1948 年（工場法 1948 年）の関係規定（抜粋）の「英語原文及び日本語仮訳」を掲げている。
- 2 次の表の右欄には、左欄の Factory Act 1948 年（工場法 1948 年）の関係規定に相当する「労働安全衛生及び労働条件法典案 2019」中の関係規定の「英語原文－日本語仮訳」を掲げている。
- 3 上記 1 及び 2 においては、それぞれ、先ず英語原文を掲げてあり、その次の欄にその条項の日本語仮訳を、それぞれ、掲げているので注意されたい。
- 4 特に、英国の「Health and Safety at Work etc. Act 1974」(職場における保健安全法)の著名な別記の条項 (so far as is reasonably practicable (合理的に実行可能な限りにおいて)) に類似するインドの Factory Act 1948 年（工場法 1948 年）の関係規定及び「労働安全衛生及び労働条件法典案 2019」中の関係規定については、それぞれ、赤字で示している。
- 5 「労働安全衛生及び労働条件法典案 2019」中の使用者の安全衛生管理義務を規定しているセクション 6 “Chapter III Duties of Employer and Employees, etc. 6. Duties of employer:” においては、次の表 1 に再掲するとおり、その「d」項以外のいずれの関係規定においても (so far as is reasonably practicable (合理的に実行可能な限りにおいて)) という規定ではなく、使用者の安全衛生確保義務をより直接的に規定していることが注目される。

(表)

インドの Factory Act 1948 年（工場法 1948 年）の関係規定（抜粋）の「英語原文及び日本語仮訳」	左欄の Factory Act 1948 年（工場法 1948 年）の関係規定に相当する労働安全衛生及び労働条件法典案 2019 中の関係規定の「英語原文－日本語仮訳」
CHAPTER II	Chapter III



<p><b>THE INSPECTING STAFF</b></p> <p>7A. General duties of the occupier.—(1) Every occupier shall ensure, so far as is practicable, the health, safety and welfare of all workers while they are at work in the factory.</p> <p>(2) Without prejudice to the generality of the provisions of sub-section (1), the matters to which such duty extends, shall include—</p> <p>(a) the provision and maintenance of plant and systems of work in the factory that are safe and without risks to health;</p> <p>(b) the arrangements in the factory for ensuring safety and absence of risks to health in connection with the use, handling, storage and transport of articles and substances;</p> <p>(c) the provisions of such information, instruction, training and supervision as are necessary to ensure the health and safety of all workers at work;</p> <p>(d) the maintenance of all places of work in the factory in a condition that is safe and without risks to health and the provision and maintenance of such means of access to, and egress from, such places as are safe and without such risks;</p> <p>(e) the provision, maintenance or monitoring of such working environment in the factory for the workers that is safe, without risks to health and adequate as regards facilities and arrangements for their welfare at work.</p>	<p>Duties of Employer and Employees, etc.</p> <p>6. Duties of employer:</p> <p>(1) Every employer shall ensure to his employees that work place is free from hazards that cause or are likely to cause injury or occupational disease to the employees, and shall comply with the Occupational Safety and Health standards made under this Code and of the regulations, rules, bye-laws and orders made there under.</p> <p>(1A) Every employer shall ensure the periodical medical examination and prescribed tests of the employee employed in his establishment in the manner as prescribed.</p> <p>(2) Every employer shall provide and maintain, as far as is reasonably practicable, a working environment that is safe and without risk to the health of the employees.</p> <p>(3) Every employer or manager of an establishment shall furnish to every worker on his appointment in the establishment, a letter of appointment in the prescribed form and where a worker appointed on or before the commencement of this Code does not have an appointment letter furnished by his employer or manager, such worker shall, within three months of such commencement, be furnished with appointment letter in the form so prescribed.</p> <p>(4) No employer shall levy or permit to be levied on any employee, any charge in respect of anything done or provided for maintenance of safety and health at work place including conduct of medical examination and investigation for the purpose of detecting occupational diseases.</p> <p>(5) Without prejudice to the generality of the provisions of sub-section (1), (2), (3), (4) the duties of an employer shall particularly in respect of factory,</p>
--	--

	<p>mines, dock, building and other construction work or plantation include –</p> <p>(a) the provision and maintenance of plant and systems of work in the workplace that are safe and without risks to health;</p> <p>(b) the arrangements in the workplace for ensuring safety and absence of risks to health in connection with the use, handling, storage and transport of articles and substances;</p> <p>(c) the provision of such information, instruction, training and supervision as are necessary to ensure the health and safety of all workers at work;</p> <p>(d) the maintenance of all places of work in the workplace in a condition that is safe and without risks to health and the provision and maintenance of such means of access to, and egress from, such places as are safe and without such risks;</p> <p>(e) the provision, maintenance or monitoring of such working environment in the workplace for the employees that is safe, without risks to health and adequate as regards facilities and arrangements for their welfare at work.</p> <p>(6) Every employer relating to factory, mine, dock work, building or other construction work or plantation shall ensure and be responsible for the safety and health of persons who are on the work premises of the employer, with or without his knowledge.</p>
<p>第 2 章</p> <p>監督要員</p> <p>7A 占有者の一般的任務 - (1) すべての占有者は、工場内で働いているすべての労働者の健康、安全および福祉を、合理的に実行可能な限り、確保しなければならない。</p> <p>(2) (1) の規定の一般性を害することなく、その義務が及ぶ事項は、</p>	<p>第 3 章</p> <p>6. 使用者の義務：</p> <p>(1) すべての使用者は、被雇用者に対し、職場に傷害若しくは職業病を引き起こす、又は引き起こす可能性のある危険から解放されていることを保障しなければならない。そして、この法律及び規則に基づいて策定された労働安全衛生基準、規程、準則及び他の命令を遵守しなければならない。</p>

<p>(a) 安全で健康への危険がない工場内の作業及び作業システムの提供及び維持</p> <p>(b) 物品及び物質の使用、取扱い、保管及び輸送に関連して安全を確保し、健康へのリスクがないことを保証するための工場内の手配</p> <p>(c) 作業中のすべての労働者の健康と安全を確保するために必要な情報、指導、訓練及び管理を与えること。</p> <p>(d) 安全であり、健康への危険性がなく、かつ、安全で、そのようなリスクのない場所にアクセスし、そこから退出する手段を与え、及び維持する条件で、工場内のすべての作業場を維持すること。</p> <p>(e) 安全であり、健康へのリスクがなく、職場での福祉のための施設及び手配に関して適切である労働者のための工場における作業環境の提供、維持又は監視</p>	<p>(1A) すべての使用者は、定められた方法で、事業所に雇用されている被雇用者の定期的な健康診断及び所定の検査を確実に行わなければならない。</p> <p>(2) すべての使用者は、合理的に実行可能な限り、安全で、被雇用者の健康に危険がない作業環境を提供し、及び維持しなければならない。</p> <p>(3) 事業所のすべての使用者又は管理者は、それぞれの労働者に、事業所での任命の際に、規定された形式での任命の証書を与えなければならないし、及びこの法令の施行の際又はその施行前に任命され、使用者又は管理者によって与えられる任命の証書を持っていない場合には、その労働者は、その開始から3ヶ月以内に、そのような形式で任命の証書が与えられなければならない。</p> <p>(4) 使用者は、職業病の検出のための健康診断及び調査の実施を含む職場における安全衛生のために行われ、又は提供されたものに関して、いかなる被雇用者に対しても賦課し、又は賦課されることを許してはならない。</p> <p>(5) (1)、(2)、(3)、(4)の規定の一般性を損なうことなく、使用者の義務は、特に工場、鉱山、ドック、建造物及びその他の建設の作業又はプランテーションに関しては、次の事項を含んでいなければならない。</p> <p>(a) 安全で健康上の危険がない、作業場におけるプラント及び作業システムの提供及び維持</p> <p>(b) 物品及び物質の使用、取扱い、保管及び輸送に関連して安全を確保し、健康へのリスクがないことを確保するための職場における手配</p> <p>(c) 作業中のすべての労働者の健康及び安全を確保するために必要な情報、指</p>
---	--

	<p>導、訓練及び監督の提供</p> <p>(d) 安全であり、健康への危険性がない状態で、作業場における作業場所の維持及び安全で、危険のない作業場所へのアクセス及び退出の手段の供給及び維持</p> <p>(e) 安全であり、健康へのリスクがなく、職場での福祉のための施設及び手配に関して適切である被雇用者のための、職場におけるそのような作業環境の提供、維持又は監視</p> <p>(6) 工場、鉱山、ドック作業、建物若しくはその他の建設作業又はプランテーションに関連するすべての使用者は、知識の有無にかかわらず、使用者の建物内にいる者の安全衛生を確保し、責任を負わなければならない。</p>
<p><b>7B. General duties of manufacturers, etc., as regards articles and substances for use in factories.</b>—(1) Every person who designs, manufactures, imports or supplies any article for use in any factory, shall—</p> <p>(a) ensure, <b>so far as is reasonably practicable</b>, that the article is so designed and constructed as to be safe and without risks to the health of the workers when properly used;</p> <p>(b) carry out or arrange for the carrying out of such tests and examination as may be considered necessary for the effective implementation of the provisions of clause (a);</p> <p>(c) take such steps as may be necessary to ensure that adequate information will be available—</p> <p>(i) in connection with the use of the article in any factory;</p> <p>(ii) about the use for which it is designed and tested; and</p> <p>(iii) about any conditions necessary to ensure that the article, when put to such use, will be safe, and without risks to the health of the workers:</p> <p>Provided that where an article is designed or manufactured outside India, it shall be</p>	<p>8. Duties of manufacturers – (1) The Central Government shall make regulations after consultation with the National Occupational Safety and Health Advisory Board and such regulations shall be complied with by every person who designs, manufactures, imports or supplies any article for use in any factory.</p> <p>(2) The regulations under sub-section (1) shall be made generally for governing the duties of manufacturers as regards articles and substances for use in factories and particularly to-</p> <p>(a) ensure <b>so far as is reasonably practicable</b>, that the article is so designed and constructed in the factories as to be safe and without risks to the health of the workers when properly used;</p> <p>(b) carry out or manage for the carrying out such tests and examination in the factories as may be considered necessary for the effective implementation of the provisions of clause (a);</p> <p>(c) take out steps as may be necessary to ensure that adequate information will be made available-</p>

<p>obligatory on the part of the importer to see—</p> <p>(a) that the article conforms to the same standards if such article is manufactured in India, or</p> <p>(b) if the standards adopted in the country outside for the manufacture of such article is above the standards adopted in India, that the article conforms to such standards.</p> <p>(2) Every person, who undertakes to design or manufacture any article for use in any factory, may carry out or arrange for the carrying out of necessary research with a view to the discovery and, so far as is reasonably practicable, the elimination or minimisation of any risks to the health or safety of the workers to which the design or article may give rise.</p> <p>(3) Nothing contained in sub-sections (1) and (2) shall be construed to require a person to repeat the testing, examination or research which has been carried out otherwise than by him or at his instance in so far as it is reasonable for him to rely on the results thereof for the purposes of the said sub-sections.</p> <p>(4) Any duty imposed on any person by sub-sections (1) and (2) shall extend only to things done in the course of business carried on by him and to matters within his control.</p> <p>(5) Where a person designs, manufactures, imports or supplies an article on the basis of a written undertaking by the user of such article to take the steps specified in such undertaking to ensure, so far as is reasonably practicable, that the article will be safe and without risks to the health of the workers when properly used, the undertaking shall have the effect of relieving the person designing, manufacturing, importing or supplying the article from the duty imposed by clause (a) of sub-section (1) to such extent as is reasonable having regard to the terms of the undertaking.</p> <p>(6) For the purposes of this section, an article is not to be regarded as properly used</p>	<p>(i) in connection with the use of the article in any factory;</p> <p>(ii) about the use for which such article is designed and tested; and</p> <p>(iii) about any conditions necessary to ensure that the article, when put to such use, shall be safe, and without risks to the health of the workers:</p> <p>Provided that where an article is designed or manufactured outside India, then such regulations shall contain provisions making obligatory on the part of the importer to see -</p> <p>(A) that the article conforms to the same standards of such article manufactured in India; or</p> <p>(B) if the standards adopted in the country outside India for the manufacture of such article is above the standards adopted in India, that article conforms to such standards in such country;</p> <p>(C) if there is no standard of such article in India, then, the article confirms to the standard adopted in the country from where it is imported at its national level;</p>
--	---

<p>if it is used without regard to any information or advice relating to its use which has been made available by the person who has designed, manufactured, imported or supplied the article.</p> <p><i>Explanation.</i>—For the purposes of this section, “article” shall include plant and machinery.]</p>	
<p>7B 工場で使用するための物品及び物質に関する製造者等の一般的な義務 -</p> <p>(1) 工場で使用するための物品の設計、製造、輸入又は供給を行う者は、次のことを行わなければならない。</p> <p>(a) 合理的に実行可能な限り、適切に使用された場合には、労働者の健康に危険を及ぼすことなく安全であるように設計され、構築されていることを保証する。</p> <p>(b) (a) の規定の効果的な実施のために必要と考えられる試験及び検査を実施し、又は手配すること。</p> <p>(c) 十分な情報が利用可能となることを保証するために、次のような必要な措置を講ずる -</p> <p>(i) いかなる工場における物品の使用に関連して；</p> <p>(ii) それが設計され、試験されているための使用について；そして</p> <p>(iii) そのような使用に供されたときに当該物品が安全であり、労働者の健康に危険を及ぼすことのないようにするために必要な条件について：インド以外で物品を設計又は製造する場合には、輸入者側は、次の義務がある -</p> <p>(a) その品物がインドで製造されているとした場合に、同じ基準に適合しているか、</p> <p>(b) そのような品物の製造のために国外で採択された基準がインドで採択された基準を上回っている場合に、当該品目はその基準に適合すること。</p>	<p>8. 製造者の義務 - (1) 中央政府は、国家労働安全衛生諮問委員会と協議の上、規則を作成し、そのような規則は、どの工場での使用のために物品を設計し、製造し、輸入し、又は供給するすべての者によって遵守されなければならない。</p> <p>(2) (1) の規則は、工場で使用するための物品及び物質に関する製造者の義務を果たすために一般的に作成されなければならない、そして、特に次の事項について、</p> <p>(a) 合理的に実行可能な限り、物品が適切に使用された場合には、安全であり、労働者の健康に危険がないように工場で設計され、建設されていること。</p> <p>(b) (a) の規定の効果的な実施のために必要と考えられる工場での試験及び検査を実施し、又は管理すること。</p> <p>(c) 適切な情報が利用可能となることを確実にするために必要な次の手順を実行する。</p> <p>(i) 任意の工場における物品の使用に関連して；</p> <p>(ii) そのような物品が設計され、試験されている使用について；そして</p> <p>(iii) 物品をそのような使用に際して安全とし、労働者の健康に危険を及ぼすことのないようにするために必要な条件について：</p>

<p>(2) 工場で使用するために物品を設計又は製造しようとする者は、設計又は物品がもたらす可能性のある労働者の健康又は安全に対するリスクを発見し、そして合理的に実行可能な限り、除去するか、又は最小限に抑えることを目指して、必要な研究を実施するか、又は手配することができる。</p> <p>(3) (1) 及び (2) に含まれているものは、前記の項の目的のために彼がその結果に頼ることが合理的である限り、ある者がそれ以外の方法で実施された試験、試験又は研究を繰り返すことを要求していると解釈されてはならない。</p> <p>(4) (1) 項及び (2) 項によってある者に課される義務は、その者が運営する事業の過程で行われたもの及びその管理下の事項にのみ及ぶものとする。</p> <p>(5) その物品が適切に使用された場合に、合理的に実行可能である限り、安全であり、労働者の健康にリスクがないであろうことを、その引き受けにおいて特定された措置が講じられたことについてのその物品の使用者による書面による保障に基づいて、その物品を設計、製造、輸入又は供給する場合には、その引き受けの条項に関して合理的である限り、その引き受けは、(1) の (a) 項によって課せられた義務から品物を設計、製造、輸入又は供給する者を救済する効果を有するものとする。</p> <p>(6) 本条の目的のためには、もし、その物品を設計し、製造し、輸入し、又は供給した者から利用可能とされた情報又は助言に関係なく使用される場合には、その製品は適切に使用されているとみなすべきではない。</p>	<p>インド以外で物品が設計し、又は製造される場合には、そのような規制は、輸入者側が次に関して知ることを義務的なものとする規定を含まなければならない。</p> <p>(A) 当該物品がインドで製造された物品と同じ基準に適合していること。又は、</p> <p>(B) そのような物品の製造のためにインド国外で採択された基準がインドで採択された基準を上回っている場合には、その条項は、そのような国の規格に準拠する。</p> <p>(C) インドにそのような物品の基準がない場合には、その物品は、国内レベルで輸入されている国で採択された基準に合致していることを確認する。</p>
---	--

<p>解説 - このセクションの目的のために、その物品にはプラント及び機械が含まれるものとする。]</p>	
	<p>9. Duties of architects, project engineers and designers.—(1) It shall be the duty of the architect, project engineer or designer responsible for any building or other construction work or the design of any project or part thereof relating to such building or other construction work to ensure that, at the planning stage, due consideration is given to the safety and health aspects of the building workers and employees who are employed in the erection, operation and execution of such projects and structures as the case may be.</p> <p>(2) Adequate care shall be taken by the architect, project engineer and other professionals involved in the project referred to in sub-section (1), not to include anything in the design which would involve the use of dangerous structures or other processes or materials, hazardous to health or safety of building workers and employees during the course of erection, operation and execution as the case may be.</p> <p>(3) It shall also be the duty of the professionals, involved in designing the buildings structures or other construction projects, to take into account the safety aspects associated with the maintenance and upkeep of the structures and buildings where maintenance and upkeep may involve special hazards.</p>
	<p>9. 建築家、プロジェクトエンジニア、設計者の義務 - (1) 計画の段階で、プロジェクト及び構造物の建設、操業及び実行に雇用される建設労働者及び被雇用者の安全及び健康の側面に適切な考慮が与えられることを保障することは、建造物又は他の建設作業に関連して建造物、他の建設作業、プロジェクトの設計又はその部分に責任のある建築家、プロジェクトエンジニア又は設計者の義務でなければならない。</p>



	<p>(2) (1) で述べたプロジェクトに携わった建築家、プロジェクトエンジニア、その他の専門家によって、その設計において危険な構造、ビルディング内の建設労働者並びに同様に建設、操業及び実行の過程において被雇用者の健康若しくは安全に危険な他のプロセス若しくは物質を含まないように十分な注意が払われなければならない。</p> <p>(3) さらに、メンテナンス及び維持に特別の危険が伴う構造物及び建物のメンテナンス及び維持に関連する安全の側面を考慮することは、建物の構造又はその他の建設プロジェクトの設計に携わる専門家の義務でなければならない。</p>
--	--

(別記 英国の1974年の「Health and Safety at Work etc. Act 1974」(職場における保健安全法)における **so far as is reasonably practicable** (合理的に実行可能な限りにおいて) が規定されている関係条項の抜萃の「英語原文—日本語仮訳」)

英語原文	日本語仮訳
<p>2 General duties of employers to their employees.</p> <p>(1) It shall be the duty of every employer to ensure, <b>so far as is reasonably practicable</b>, the health, safety and welfare at work of all his employees.</p> <p>(2) Without prejudice to the generality of an employer's duty under the preceding subsection, the matters to which that duty extends include in particular—</p> <p>(a) the provision and maintenance of plant and systems of work that are, <b>so far as is reasonably practicable</b>, safe and without risks to health;</p> <p>(b) arrangements for ensuring, <b>so far as is reasonably practicable</b>, safety and absence of risks to health in connection with the use, handling, storage and transport of articles and substances;</p> <p>(c) the provision of such information, instruction, training and supervision as is necessary to ensure, <b>so far as is reasonably practicable</b>, the health and safety at work of his employees;</p> <p>(d) <b>so far as is reasonably practicable</b> as regards any place of work under the employer's control, the maintenance of it in a condition that is safe and without risks to health and the provision and maintenance of means of access to and egress from it that are safe and without such risks;</p> <p>(e) the provision and maintenance of a working environment for his employees that is, <b>so far as is reasonably practicable</b>, safe, without risks to health, and adequate as regards facilities and arrangements for their welfare at work.</p>	<p>2 雇用者の従業員に対する一般的な義務</p> <p>(1) 雇用者は、<b>合理的に実行可能な限りにおいて</b>、その全ての従業員の就労中の衛生、安全、及び福利厚生を実現する義務を負うものとする。</p> <p>(2) 上の項目における雇用者の義務の一般性を損なうことなく、この義務が適用される事項には特に以下が含まれる。即ち、</p> <p>(a) <b>合理的に実行可能な限りにおいて</b>、安全であり健康への危険のない機械設備及び労働システムに関する規則とその維持。</p> <p>(b) <b>合理的に実行可能な限りにおいて</b>、物品及び物質の使用、操作、貯蔵及び輸送に関連した安全と危険の除去を実現するための取り決め。</p> <p>(c) 従業員の就労中の衛生・安全を、<b>合理的に実行可能な限りにおいて</b>確保するために必要な情報、指示、訓練及び監視に関する規定。</p> <p>(d) <b>合理的に実行可能な限りにおいて</b>、雇用者の管理下にある労働の場及びその維持が安全であり健康への危険のない状態にあること、及びこうした場所への出入りを安全かつ健康への危険のないものとするための規則とその維持。</p> <p>(e) 従業員の労働環境が、<b>合理的に実行可能な限りにおいて</b>、安全かつ健康への危険を持たず、また、施設面で適切なものとするための規則とその維持及び就労中の福利厚生に関する取り決め。</p>